中西部
ヤングサッカーニュース
2008 1

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

世界へ羽ばたく！ 闘魂！

長谷部　誠
ボルフスブルク　MF

1984・1・18生
青島東小→青島中→藤枝東高
→浦和レッドダイヤモンズ


C:URAWAREDS

２００７年はＡＣＬ優勝。そしてクラブＷ杯３位となりました。全試合に出場。ＡＣミラン等、世界のトップチームは、技術、精神力、すべてにおいて高いレベルでした。実際に対戦してすごく楽しかったし、良い経験になりました。

今年は新たな挑戦として、ドイツ・ブンデスリーガ１部のボルフスブルクへ入団することを決めました。自身としてもっともっと練習して、今よりも高いレベルの選手になりたいと思います。中西部の皆さんにもっと活躍している姿を見せたいと思います。

藤枝東が全国制覇の夢は実現できませんでしたが、選手の皆さんは次の目標に向かってください。自分も一生懸命頑張りたいと思いますので、応援宜しくお願いします。

第86回 全国高校サッカー選手権大会
藤枝東 準優勝！

12月30日から1月14日まで行われた全国高校サッカー選手権大会で、藤枝東が34年ぶりの決勝に勝ち進んだが、流通経済大柏に敗れ、全国制覇に一歩及ばず準優勝となった。また、試合後に大会優秀選手37名が発表され、藤枝東から5名が選出された。

初戦の苦しみPK戦で突破

◎1回戦　VS香川西

カウンターを狙う相手にサイドを使い、そこを起点に攻めるもシュートに持ち込めず。そして後半4分、相手に先制点を奪われる。だが、その2分後に右の藤田からのクロスを平井がワントラップシュート。GKが弾いたボールを岡崎が押し込み、すかさず追い付いた。17分に平井のFKがポストに弾かれるなどで勝ち越し点を奪えず、試合はこのままPK戦へ突入。相手4人目が外したのに対し、5人全員が決めて、苦しんだ初戦を突破した。

決定機を確実に得点に

◎2回戦　VS室蘭大谷

序盤からペースを掴みパスを繋げる。そして22分に河井、37分に松田がそれぞれFKを直接決めて前半に2点のリードを奪う。後半7分には、平井の左からの折り返しを相手DFがヘッドでクリア、そのこぼれ球を藤田が右足を振り抜き3点目を奪った。15分に左のクロスを頭で合され1点を返されるが、終盤の38分に途中出場の稲葉がドリブルで持ち上がりゴール前にパス。それを松田がゴールに蹴り込み、突き放した。

速さ・高さに苦戦も辛勝

◎3回戦　VS日大藤沢

出足の早い相手にルーズボールが奪えず攻め切れずにいたが、21分に河井が自ら得たPKを決めて先制。これでリズムを掴むも、ハイボールで競り負け、カウンターでサイドのスピードを生かして突破される。そしてロスタイムに、左からのクロスにファーサイドで飛び込まれ同点にされる。後半、浮き球を跳ね返され流れが掴めずにいた23分、松田の低いセンタリングに今度は途中交替の中村が頭で合わせて勝ち越し点を奪い、この1点リードを守り切った。

パスサッカーで相手を翻弄

◎準々決勝　VS三鷹

前半、ボールを支配し、パスサッカーでサイドチェンジやサイドの突破を織り交ぜ優位に進める。23分に藤田のヘッドでのパスを石神が浮き球で繋いで、河井がワントラップの技ありシュート。これが三鷹ゴールに吸い込まれ先取点を奪った。後半25分には河井の左CKに松田が頭で合わせて2点目をゲット。パスの精度を欠き押し込まれる場面もあったが、DF陣が冷静に対処し今大会初めて無失点に抑えて、公立校同士の対戦を制した。

パスワークの1点を堅守

◎準決勝　VS高川学園

舞台を国立競技場に移しての準決勝は、前半から司令塔の河井を軸にパスを繋げ押し気味に進める。11分に石神のパスを受けた松田がヒールで落とし、走り込んだ河井が右足を思い切り振り抜き、先制ゴールを決めた。後半は、攻守の切り替えが速くなった相手のプレッシャーに、またもパスが思うように繋がらない。だが、守備の粘りと相手のシュートミスにも助けられ、逃げ切った。

まさかの4失点に涙

◎決勝　VS流通経済大柏

4万8884人の観衆が見守る満員の国立で行われた決勝戦。攻守が激しく入れ替る立ち上がり、6分に柏FWのドリブルからフリーの選手に決められて先手を許す。相手の速いプレスにルーズボールを奪われ守勢になるも、徐々にパスが繋がりだす。だがシュートには至らず、1点のビハインドで折り返す。反撃に出たい後半だが、早々の3分に失点すると、17分に攻め上がったところを奪われ速い展開から、26分にはCKからゴールを奪われ、リードを広げられる。終盤は3度のCKを得るなど柏ゴールに詰め寄るも、1点が遠く涙をのんだ。



服部康雄監督
「基本の正確性や速さが、パス1本、クリア1本にも差があった。球際の強さもそうだし。パスをツボを得た所に出せるし、来たボールもキープできる。1本のパス、キックに拘っていきたい」

鳥羽亮佑主将
「立ち上がりに点を入れられて焦りがあった。DFラインが下がり間延びして、スペースを与えてしまった。失点でチームの雰囲気が変わる、いかに0で抑える事が大切か学んだ」

村松大輔選手
「相手に最初勢いがあり、DFラインはそれに飲まれた。今（準決勝）までは皆で集中してでき、個人でも1対1にも負けていなかったが」

小関教平選手
「今大会は全員で声を掛け合い、DFラインが安定してきた。ただ、今日（決勝で）負けた事で、全国で優勝するには、日頃の練習から満足しないでやらないといけないと感じた」

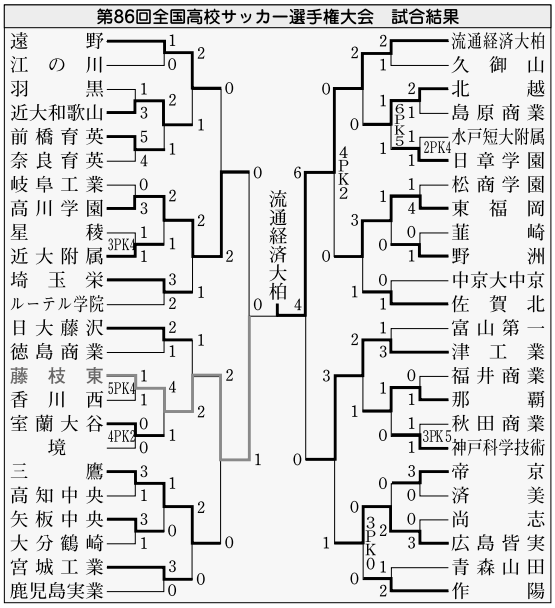
河井陽介選手
「1年から試合に出られて、最後にここ（決勝）まで来られて、最高の仲間とプレーできてよかった。試合をお勝てないと楽しめない」


決勝　藤枝東 VS 流通経済大柏


準決勝　藤枝東 VS 高川学園

いい経験をさせてもらい、う毎にチームが成長して、やっていて楽しかった。決勝でもっと楽しみたかった。

第86回全国高校サッカー選手権大会　試合結果



藤枝東高校　登録メンバー

No.	位置	氏　名	学年	前登録チーム
1	GK	岩間　康孝	3	東海大翔洋中
②	DF	村松　大輔	3	藤枝東ＦＣ
③	DF	小関　教平	3	清水エスパルス
4	DF	鳥羽　亮佑	3	常葉学園橘中
⑤	MF	石神　幸征	3	キューズＦＣ
6	MF	小林　勇輝	2	ヤマハジュビロ浜北
7	MF	藤田　息吹	2	名古屋ＦＣ
8	MF	平井　大樹	3	藤枝東ＦＣ
9	FW	岡崎　太一	2	藤枝中
⑩	MF	河井　陽介	3	藤枝東ＦＣ
⑪	FW	松田　純也	3	ヤマハジュビロ浜北
12	FW	中村龍一郎	3	藤枝東ＦＣ
13	DF	渡辺　和也	3	藤枝東ＦＣ
14	FW	稲葉　英昭	3	青島北中
15	MF	浜川　航史	3	藤枝東ＦＣ
16	MF	横山　翔太	2	広幡中
17	GK	木村　誠志	1	ヤマハジュビロ浜松
18	GK	石橋　直人	2	常葉学園橘中
19	DF	グラント・マーク	2	レイソルSS青梅
20	FW	村松　一樹	2	藤枝東ＦＣ
21	DF	高嶋　亮輔	2	ヤマハジュビロ磐田
22	DF	増田　有岐	2	藤枝東ＦＣ
23	MF	安藤　克敏	2	名古屋グランパスエイト
24	MF	加藤　大貴	1	ヤマハジュビロ浜松
25	MF	矢野　郁明	1	聖隷ＪＹＳＣ

No. の○は大会優秀選手

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 2

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第14回静岡県O-35サッカー選手権大会

中西部選抜 3連覇



35歳以上が対象となる静岡県O－35サッカー選手権大会が２月３日、10日に藤枝市で開催され、中西部選抜が３連覇を果たした。

県内５支部の各選抜チームに、２００８年度の日本マスターズ大会出場を目指す静岡県選抜（40歳以上）の６チームが参加して、２組に分かれて予選リーグを行い、各組の上位２チームが決勝トーナメントに進んだ。

中西部選抜は予選リーグを１勝１分でAリーグ１位通過し、決勝トーナメントに進んだ。西部選抜との準決勝は、11分に鈴木の折り返しから碓井が先制ゴール。すると、13分にGKと１対１になった森が落ち着いて蹴り込み、15分には飯塚のクロスを再び碓井が決めて一気に３点を奪った。後半10分に１点を返されるも、その後は優位に進め、このまま逃げ切った。

中西部選抜	
深津　勝利	徳山　茂成
碓井　勝	飯塚　俊晴
増田　勝紀	五加　仁
遠藤　浩史	油井　雅和
見崎　泰弘	紅林　良彦
北川　毅	森　継太
松村　啓司	清水　俊宏
岡田　好二	平賀　圭輔
福與　久信	鈴木　昭吾
藤波　英史	落合　義嗣
徳山永三郎	杉村　友好
尾白　幸生	永井　克俊
平口　一利	木野　圭輔
飯田　直純	堀井　裕貴
松村　等	藪崎　豊樹
長谷川辰巳	岡村　敏明

決勝トーナメント試合結果

中西部選抜 2 1 3 1 西部選抜
静岡県選抜 2 1 1 0 東部選抜
中西部選抜

予選リーグ試合結果

Aリーグ	東　部	中東部	中西部	勝点	順位
東部選抜		○4－1	●0－3	3	2
中東部選抜	●1－4		△0－0	1	3
中西部選抜	○3－0	△0－0		4	1

Bリーグ	中　部	西　部	静岡県	勝点	順位
中部選抜		●2－3	●1－3	0	3
西部選抜	○3－2		●1－2	3	2
静岡県選抜	○3－1	○2－1		6	1

第34回 静岡県つま恋ユースU－11選抜サッカー大会

小学５年生以下を対象とする静岡県つま恋ユースU－11選抜サッカー大会は、各地区のトレセンチームが参加して１月26日、27日に行われた。今回は８人制の前後半制で実施され、４ブロックに分かれての予選リーグと、その結果による順位リーグで争われた。

島田、藤枝、榛原、焼津の４地区トレセンが出場した中西部勢では、島田トレセンがブロック１位となり１位リーグに進んだ。そして島田は、勝利した浜松東に勝点とさらに得失点差で並んだが、総得点で上回り３位入賞を果たした。

なお、表彰式で大会優秀選手11名が発表され、中西部からは島田トレセンの２名が選出された。

島田トレセン　第３位



優秀選手（中西部勢のみ）
小寺　将意（島田トレセン）
鈴掛　涼（島田トレセン）

予選リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	島　田	静　岡　葵	浜　松　西	浜　松　東
2	清　水	沼　津	田　方	焼　津
3	磐　田	藤　枝	静岡駿河	御　殿　場
4	伊　東	富　士	榛　原	三　島
5	富　士　宮	袋　井	裾　野	掛　川

順位リーグ試合結果（中西部勢の順位のみ）

1位リーグ	浜松西	葵	浜松東	島田	勝点	得失差	順位
浜松西		△1－1	○1－0	○4－1	7	4	1
静岡葵	△1－1		●0－1	○2－1	4	0	2
浜松東	●0－1	○1－0		●0－2	3	-2	4
島田	●1－4	●1－2	○2－0		3	-2	3

※３・４位は総得点による。

2位リーグ	沼津	清水	田方	焼津	勝点	得失差	順位
沼津		●1－2	○6－0	○2－0	6	7	2
清水	○2－1		○2－0	○2－0	9	5	1
田方	●0－6	●0－2		●0－4	0	-12	4
焼津	●0－2	●0－2	○4－0		3	0	3

3位リーグ	御殿場	駿河	藤枝	磐田	勝点	得失差	順位
御殿場		△1－1	●0－2	●1－2	1	-3	4
静岡駿河	△1－1		●1－2	○2－0	4	1	3
藤枝	○2－0	○2－1		●0－1	6	2	1
磐田	○2－1	●0－2	○1－0		6	0	2

4位リーグ	榛原	三島	伊東	富士	勝点	得失差	順位
榛原		○2－1	○6－2	△1－1	7	5	1
三島	●1－2		●0－4	●0－3	0	-8	4
伊東	●2－6	○4－0		●1－2	3	-1	3
富士	△1－1	○3－0	○2－1		7	4	2

静岡県選抜と対戦した決勝では、５分に徳山永からのボールを森が決めて先取点を奪う。３分後にCKから同点とされるが、押し気味に進める中西部選抜は、後半20分に徳山永のシュートが相手のオウンゴールを誘い、これが決勝点となり見事、優勝を飾った。

第38回東海小学生女子U－12サッカー選手権大会

静岡県選抜 準優勝



東海小学生女子U－12サッカー選手権大会が、１月13日にエコパ人工芝グラウンドで行われた。４県から１チームずつが参加して、トーナメント戦で争われた。

静岡県ではこれまで、５支部のトレセンチームによる県予選を行い、その優勝チームが東海大会に出場していたが、今回から県選抜チームで臨むこととなった。その静岡県選抜には、県トレセン参加選手から22名が選出され、中西部からは７名が選ばれた。

初戦で三重県選抜と対戦した静岡県選抜は、前半に２点のリードを奪った。後半１点差に詰め寄られるが、その後３点目を決めて突き放し、決勝に駒を進めた。愛知ドリームレディースとの決勝戦は、前半に２失点。後半に１点を返すもそのまま逃げ切られ惜敗し、準優勝となった。

なお、優秀選手に中西部勢では塩澤里奈が選ばれた。

中西部勢７名が参加

静岡県選抜U－12女子	位置	氏　名	学年	所属チーム
中西部選手	MF	中西　咲	6	島田第四ＳＳ
	MF	箕浦　里穂	6	住吉ＳＳ
	MF	森下　幸恵	6	五和ＳＳ
	DF	篠原　千里	6	青島ＳＳ
	DF	田中　夏希	6	島田プリンセス
	FW	塩澤　里奈	6	焼津南ＳＳ
	FW	太田原二華	6	島田プリンセス

試合結果

静岡県選抜 3 1 三重県選抜
岐阜県選抜 1 0 愛知ドリームレディース
静岡県選抜

平成19年度 東海地区 中学生選抜サッカー大会

中西部勢５名が参加

トレセン活動の一環で、14歳以下の各県トレセン参加選手で構成された県選抜チームがリーグ戦で競う、東海地区中学生選抜大会が１月26日、27日に愛知県で行われた。U－13とU－14に分けて試合が行われ、各チーム16名ずつで臨んだ。

試合結果

U－13
静岡県 1－1 岐阜県
静岡県 4－0 三重県
静岡県 3－0 愛知県

U－14
岐阜県 1－0 静岡県
静岡県 0－0 三重県
静岡県 5－1 愛知県

静岡県選抜は、U－13が２勝１分、U－14が１勝１敗１分で大会を終えた。その静岡県選抜に中西部勢では、U－13に２名、U－14に３名が選ばれ参加した。

静岡県U-13の中西部勢

位置	氏　名	所属チーム
DF	坂本祐二朗	藤枝明誠ＳＣ
MF	佐藤　飛天	清水エスパルスＪＹ(焼津中)

静岡県U-14の中西部勢

位置	氏　名	所属チーム
DF	鈴木　智久	ヤマハジュビロ掛川(川根中)
FW	山田　祥平	清水エスパルスＪＹ(相良中)
FW	安間　文俊	藤枝東ＦＣ

新たな挑戦

～“あと一歩”への再挑戦～

藤枝明誠高校サッカー部
監督
田村　和彦

我々藤枝明誠高校のグランドには、サッカー部としての目指すべきチーム目標を掲げている。これは、部員全員が歩む方向性を四六時中視野に入れ、明確にしたいという願いからである。『県制覇－高円宮杯全日本ユース出場・総体優勝・選手権優勝－今年度』の目標である。県制覇という統一目標を常に念頭に置く中で、具体的な達成目標をその年度ごとに設定し、達成したら次年度の新たな達成目標を掲げていく。そういった意味で“今年度”と書いたわけである。幸運にも一昨年は「東海プリンスリーグ昇格」を、そして昨年は「東海プリンスリーグ１部へ昇格」を、そして昨年は〝新たな〟挑戦であり、選手権には〝再〟挑戦である。諦めることなく、挑み続けたい。

同様である。やるからには、頂点を狙いたい。そして、何よりも大切なことは、できないではなく、やろうと試みるかどうかであると思う。我々は、先の選手権県決勝で、藤枝東の前に力不足を露呈し、あと一歩の難しさを改めて痛感したわけである。私は、だからやりがいがあるのだと思っている。

今年は、正念場である。東海プリンスリーグ１部へ昇格、選手権には〝再〟挑戦である。諦めることなく、挑み続けたい。

総体や選手権に於いても

ため、今年度は更にランクを上げた目標を設定しスタートを切ったところである。

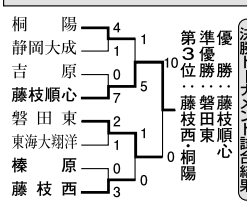
中西部
ヤングサッカーニュース
2008 3
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝順心　5連覇!!



平成19年度 静岡県高校女子サッカー新人大会

静岡県高校女子サッカー新人大会は、予選リーグを勝ち上がった8チームによる決勝トーナメントが2月16日、17日、23日に行われ、藤枝順心が優勝、藤枝西が3位となった。



決勝トーナメント試合結果
優勝…藤枝順心
準優勝…磐田東
第3位…藤枝西、桐陽

1回戦で吉原に大勝した藤枝順心は、準決勝で桐陽に今大会唯一の失点を喫するものの、5対1で勝利し決勝に進んだ。

決勝の相手は磐田東。終始ボールを支配し、前半7分に左山桃子のゴールで先制すると、2分後には井原遥香のCKからクリアボールを金札杏が豪快に決めた。更に、26分に富山瞳がCKをヘッドで合わせ、27分には若林亜里佐がトラップから反転しての技ありシュート。ロスタイムにも松嶋優花が蹴り込み、それぞれ違う選手で5点を奪った。後半にも攻勢は続き、左山のぼれ球を滝口あきらが繋いで渋谷里美が押し込み先制。後半8分には左サイドの松島史織からのクロスを飯田実来が決めてリードを広げると、ロスタイムにも松島→飯田のコンビで加点し、榛原を下した。榛原もよく動き積極的にシュートを放つも得点とはできなかった。

6年ぶりに準決勝に進んだ藤枝西は、磐田東を相手にサイド攻撃を仕掛けるもレベルの低下が感じられたのは少人数のトレーニングに起因する点も少なくないであろう。そういった傾向の中で、レベルの高いプレーが見られる場面はあった。特に感じられたのはゴールを目指す過程においての判断・タイミングの重要性であった。ダイレクトプレーでシンプルにゴールを目指すのか、ワイドに展開してスペースを使うか、サイドチェンジか、その場面において、どういった理由で、どの選択をするのかという判断と、その判断にチーム全体の共通理解があることで、出し手と受け手のタイミングが一致する事、それによってサッカーの流れが生み出されるように感じた。個人としてもチームとしてもボールを失わず、ヘッドアップして状況を見ること、サッカーを良く知ること、が必要だと思われる。

もちろん、それを支えるのは基本技術がしっかりとプレーについていることであり、試合のプレッシャーの中でのボールコントロール、キックが正確にできることが第1歩なのだとも思う。共にプレーする仲間が少なく、基準を持ちにくいかもしれないが、それぞれのレベルで自分に必要な技術を身につけてほしいと思う。

藤枝西　6年ぶりのベスト4



1回戦は藤枝西と榛原の中西部同士の対戦をなった。サイドを使い攻める藤枝西が、前半16分に安間真理子のCKのこぼれ球を滝口あきらが繋いで渋谷里美が押し込み先制。後半8分には左サイドの松島史織からのクロスを飯田実来が決めてリードを広げると、ロスタイムにも松島→飯田のコンビで加点し、榛原を下した。榛原もよく動き積極的にシュートを放つも得点とはできなかった。

6年ぶりに準決勝に進んだ藤枝西は、磐田東を相手にサイド攻撃を仕掛けるもシュートまで持ち込めない。前半24分にカウンターから相手ミドルシュートが決まり先手を許す。後半も攻め続けるがゴールが遠く、0対1で惜敗。3位となった。

「決定力を上げたい」と萩原淑主将。パスミスで攻め切れない場面もあり、シュートの精度と合わせて更なるレベルアップで、高校総体での戦いに期待したい。

技術委員会

㈶静岡県サッカー協会
中西部支部5種技術委員
佐藤　望

高校女子サッカー新人大会を終えて

高校女子サッカー新人戦が、藤枝順心高校の大会5連覇で幕を閉じた。

大会を振り返っての全体的な印象として競技者の減少を感じた。多くのチームがギリギリのメンバーで活動しているようであった。

大人しく、リーダーとなる選手不在を懸念する多々良和之監督だが、声を出せるようになってきたと選手たち。更に意欲を表に出して、次は夏の全国を目指す。

見事5連覇を達成した。

第23回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル

静岡県ヤングサッカーフェスティバルが3月9日に遠州灘海浜公園で開催され、U－16の部で静岡県U－16選抜と静岡県西部U－16選抜、U－18の部の最後の試合で静岡県高校選抜と静岡県高校選抜の対戦が行われた。

静岡県U－16選抜　4－1　県西部U－16選抜

静岡県高校選抜に4名 日本高校選抜に5名 中西部勢参加

静岡県高校選抜は、過去2大会の国体選考や2月の県高校新人大会などから選出された選手達で、中西部勢は4名が選ばれた。

そして日本高校選抜は、全国高校選手権大会の優秀選手から選抜された選手で構成され、藤枝東高校の5名が選ばれ出場した。

なお、日本高校選抜は3月15日からヨーロッパに遠征し、ドイツで開催されるベリンソォーナ国際ユースサッカー大会（3月20日～24日）に参加する。

日本高校選抜　2－1　静岡県高校選抜


岡崎　太一


藤田　息吹


小林　勇輝


栗本　広輝


松田　純也


石神　幸征


河井　陽介


村松　大輔


小関　教平

静岡県高校選抜

位置	氏　名	所属チーム	学年
GK	井川　貴光	浜松開誠館高校	2
GK	芹澤　賢人	常葉学園橘高校	1
DF	栗本　広輝	清水商業高校（エスパルスＳＳ藤枝出身）	2
DF	大芝　貴明	常葉学園橘高校	2
DF	栗山　直樹	清水東高校	2
DF	阿部　真成	常葉学園橘高校	2
MF	小林　勇輝	藤枝東高校	2
MF	井戸　康雄	常葉学園橘高校	2
MF	風間　宏希	清水商業高校	1
MF	杉山　琢弥	磐田東高校	2
MF	藤田　息吹	藤枝東高校	2
MF	長崎　健人	静岡学園高校	2
MF	竹内　涼	浜松開誠館高校	2
MF	竹内　一貴	浜松開誠館高校	2
FW	岡崎　太一	藤枝東高校	2
FW	植田　雅之	常葉学園橘高校	2

日本高校選抜

位置	氏　名	所属チーム	学年
GK	須藤　亮太	流通経済大柏高校	3
GK	洞ヶ瀬勇馬	高川学園高校	3
DF	比嘉　祐介	流通経済大柏高校	3
DF	小川　純	高川学園高校	3
DF	堀谷　順平	作陽高校	3
DF	浦田　延尚	帝京高校	3
DF	小関　教平	藤枝東高校	3
DF	村松　大輔	藤枝東高校	3
MF	土田　太陸	東福岡高校	3
MF	河井　陽介	藤枝東高校	3
MF	廣瀬　智靖	前橋育英高校	3
MF	高橋宏次郎	広島皆実高校	3
MF	石神　幸征	藤枝東高校	3
MF	松葉　司	津工業高校	3
MF	中里　崇宏	流通経済大柏高校	3
FW	松田　純也	藤枝東高校	3
FW	大前　元紀	流通経済大柏高校	3
FW	富山　貴光	矢板中央高校	2

静岡県Ｕ－16選抜

位置	氏　名	所属チーム	学年
GK	久保田晃次	ＡＣＮジュビロ沼津	中3
GK	前田　将	常葉学園橘中学校	中3
DF	藤原　賢土	藤枝明誠高校	高1
DF	鈴木　凱士	ヤマハジュビロ磐田	中3
DF	中原　伸尚	清水エスパルスＪＹ	中3
DF	竹田　清恭	ヤマハジュビロ浜松	中3
DF	湯本　凌	ＡＣＮジュビロ沼津	中3
DF	内田　恭兵	ＡＣＮジュビロ沼津	中3
MF	田代　諒	清水エスパルスＪＹ	中3
MF	和久田章太	ヤマハジュビロ浜松	中3
MF	海田　佳祐	ジュビロ磐田Ｙ	高1
MF	増田　湧介	ＡＣＮジュビロ沼津	中3
MF	塚田　玄徳	ヤマハジュビロ磐田	中3
MF	海野　智之	藤枝東ＦＣ	中3
MF	原口祐次郎	藤枝明誠ＳＣ	中3
FW	柴原　誠	清水エスパルスＪＹ	中3
FW	山崎　将	浜松開誠館中学校	中3
FW	鈴木　航	ＡＣＮジュビロ沼津	中3

静岡県Ｕ－16選抜に静岡県U－16選抜に中西部勢3名参加

静岡県U－16選抜は、中西部勢は3名が選出された。

選出された県トレセンの選手達は、3月に2組に分かれて、イタリア遠征と甲信越と静岡の4県で行われる大会に参加する。

学3年生と高校1年生の早生まれを対象に行われているU－16静岡県トレセンから選出された選手達で、今年の大分国体に向けた強化の中心となる選手達でもある。中


藤原　賢土


海野　智之


原口祐次郎

新たな挑戦

㈶静岡県サッカー協会
中西部支部３種委員長
池谷　英人

～新年度を迎えるにあたって～

来年度の中西部３種事業の大きな変更点は、フリーウェーブカップの主管を来年度中西部から中部へ移譲し、序盤の1日をエコパ会場で西部の運営としたことです。来年度は、新人戦のように中体連チームとクラブチームとの大会分離が一層進み、大会数も増加するため、会場確保など県下５支部の協力体制が必要不可欠になってきています。

また、中西部３種における選手の表れの一つとして、多くの優秀な選手が中西部以外の私立中学校やクラブへん通っている現状があります。私の中学校区でも５人の選手が中西部以外のチームへ所属しています。より良い環境の中でサッカーができるならば、それはそれで良いことだと思いますが、できることならばそのような魅力あるチームが中西部にあることを心から願っています。

さらに、公立中学校につきましては、依然、県下３種の中でも圧倒的なチーム数と登録選手を抱えています。公立中学校は「サッカーの普及」という面で、間違いなく大きな貢献をしているのです。指導している先生方につきましては、たいへん厳しい毎日とは思いますが、サッカー人気は公立中学校が支えているという気概をもって、子どもたちに夢を与えて続けていってほしいと思います。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 4

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

U-13 中西部クラブ選抜Ａ　初優勝！

第20回ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会



ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会が3月23日から25日まで行われ、U－13の部で中西部クラブ選抜Ａが初優勝を果たした。

U－13とU－14の部に分かれて争われたこの大会。U－13の部には今回、初めて参加した中西部クラブ選抜のA・B2チームに藤枝、焼津・大井川、榛原の3地区トレセンが、U－14の部にはこちらも初参加の中西部クラブ選抜が出場した。

中西部クラブ選抜Ａは１次リーグでブロック１位となり、１位～４位トーナメントに進んだ。準決勝でヤマハジュビロ磐田と対戦し、開始早々に鈴木と杉村が立て続けに決め、11分にも田山のゴールでリードを広げた。後半ロスタイムにも八木のヘディングシュートで４点目を奪い突き放した。

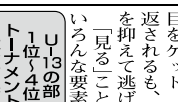
決勝の相手はジュビロ磐田ジュニアユース。前半７分に渥美が角度のない所から中に入れ鈴木が押し込み先制。後半７分にも白石のパスから杉村が決めて２点目をゲット。14分に１点を返されるも、その後の反撃を抑えて逃げ切った。

「見る」ことに重点を置きいろんな要素で「見たものに対する判断」に注意させたという中西部クラブ選抜Ａ。「グラウンドを一杯に使い、攻守の準備で頭と体のハードワーク」を要求した鈴木将史監督。「優勝を目指す機会がなく初めての舞台でいい経験になったのでは。この経験をチームで活かして欲しい」と語った。

中西部クラブ選抜Ａ

位置	氏　名	所属チーム
ＧＫ	小原　大輝	藤枝東ＦＣ
ＤＦ	田中　健登	藤枝東ＦＣ
ＤＦ	池谷　伸治	藤枝東ＦＣ
ＤＦ	岩本　陽太	藤枝明誠ＳＣ
ＭＦ	白石　裕紀	藤枝東ＦＣ
ＭＦ	杉村　公嘉	藤枝東ＦＣ
ＦＷ	八木　大智	エスパルスＳＳ藤枝
ＭＦ	内田　大紀	ＡＣＭブルックスＦＣ
ＭＦ	小池　康裕	藤枝明誠ＳＣ
ＦＷ	渥美爽太郎	藤枝東ＦＣ
ＦＷ	田山　司	ＡＣＭブルックスＦＣ
ＭＦ	太田　圭	ＥＷＳ・ＦＣ
ＭＦ	濱　一誠	藤枝明誠ＳＣ
ＭＦ	鈴木　侃太	藤枝明誠ＳＣ
ＧＫ	太田原永典	エスパルスＳＳ榛原
ＦＷ	浅野　拓也	エスパルスＳＳ榛原

U-13の部 試合結果



U-13の部 最終順位

順位	チーム名
1	中西部クラブ選抜Ａ
2	ジュビロ磐田ＪＹ
3	静岡県U－12トレセン
4	ヤマハジュビロ磐田
5	焼津・大井川トレセン
6	沼津トレセン
7	中部トレセン
8	藤枝トレセン
9	ヤマハジュビロ浜松
10	三島トレセン
11	富士トレセン
12	中西部クラブ選抜Ｂ
13	ヤマハジュビロ掛川
14	榛原トレセン
15	裾野トレセン

U-14の部 最終順位

順位	チーム名
1	ヤマハジュビロ磐田
2	静岡県選抜U－13
3	ヤマハジュビロ掛川
4	ＡＣＮジュビロ沼津
5	中西部クラブ選抜
6	ヤマハジュビロ浜松
7	中部トレセン
8	富士トレセン
9	沼津トレセン
10	ＹＪＳＳ


U-14 中西部クラブ選抜 VS 中部トレセン


U-13 中西部クラブ選抜Ａ VS 中西部クラブ選抜Ｂ


U-13 藤枝トレセン VS 榛原トレセン


U-13 焼津・大井川トレセン VS 中部トレセン

静岡県選抜U－13に１名
静岡県トレセンU－12に２名
中西部選手参加

この大会ではＵ－14の部に静岡県選抜Ｕ－13、Ｕ－13の部に静岡県Ｕ－12トレセンと、それぞれ１学年下の選手たちが参加した。中西部勢では静岡県選抜Ｕ－13に１名、静岡県Ｕ－12トレセンに２名が選抜された。

静岡県選抜U－13


坂本新太郎
ＦＷ
藤枝東ＦＣ

静岡県U－12トレセン


岸　開登
ＭＦ
青島ＳＳ


海野　智貴
ＦＷ
藤枝明誠ＳＣ

目先の勝敗にとらわれずに…

藤枝明誠スポーツクラブU－12
監督　仁科　勝男

２００２年、藤枝明誠スポーツクラブとして、発足以来６年目にして、しずぎんカップ県大会に出場することができました。自分で考え、判断し、行動できる、自立した心、豊かな人間形成を目指し、一人ひとりの本当の基礎・基本的な技術（止める、蹴る、運ぶ）を高め、個性を大事に能力を伸ばしていくことに力を入れてやって来ました。

この大会を通じ、成果もありましたが、対戦相手のプレーから多くのことを学び、これらが課題となりました。特に決勝戦での聖隷ＪＦＣは一人ひとりの個人技術がしっかりしていて、選手がよく周りが見えていて、サポート選手が次々と湧き出てくる。スペースと時間をうまく使えるチームでした。身体の使い方がうまく、二人三人で囲んでもボールが奪えず、次のプレーのイメージもしっかりできていました。

多くの課題を目先の勝敗にとらわれずに、今秋までに修正し、また、いろいろなチームと県大会で対戦できるように、トレーニングに励みたいと思います。

しずぎんカップ第23回静岡県ユースU－11サッカー大会

藤枝明誠ＳＣ　準優勝
フェアプレー賞も受賞



昨年度の５年生以下が対象となる、しずぎんカップ静岡県ユースＵ－11サッカー大会が３月15日、16日、23日に行われ、藤枝明誠ＳＣが準優勝に輝くとともにフェアプレー賞も受賞した。

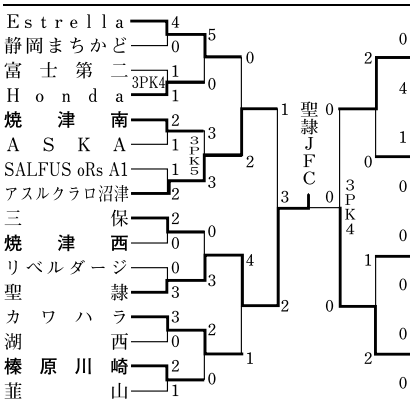
中西部地区で開催

この大会は今回、藤枝総合運動公園を主会場に中西部地区で開催された。初日には開会式が行われ、藤枝中央サッカースポーツ少年団の岡田流星選手が元気に選手宣誓した。



初出場で準決勝に進出した藤枝明誠ＳＣは城北と対戦。前半の好機を生かせず、後半は逆に押し込まれるが体を張って守り、共に無得点のまま延長戦でも決着が着かずにＰＫ戦へ突入。３対３で迎えた相手５人目をＧＫ川崎駿也が止め、接戦に勝利して決勝に駒を進めた。決勝は聖隷に球際で競り負け、前半に２点、後半も１点を失い優勝を逸した。

しずぎんカップ静岡県ユースＵ－11サッカー大会　試合結果


Ｅｓｔｒｅｌｌａ
静岡まちかど二
静富Ｈｏｎｄａ
焼津南
ＡＳＫＡ
SALFUS oRs A1
アスルクラロ沼津
三焼津保
リベルダー西
聖カ湖ワハ
榛原川
聖隷ＪＦＣ
デー
バマ城向
初竜
葵御殿場中
藤広相
長泉アミーゴス
テン
飯田ファイターズ
ピュ
藤枝明誠
延長
3PK4
3PK5
4PK2
5PK4
2PK4
4
0
5
0
1
0
3PK4
1
1
2
1
3
3PK5
1
2
3
2
0
0
0
3
4
3
0
3
2
2
0
1
0
1
2
1
0
2
0
4
0
1
0
0
1
0
0
0
0
0
4
0
0
0
2
0
2
0
2

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 5
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第29回 松永杯争奪 中西部中学生サッカー大会
フリーウェーブカップ 静岡県U-15サッカーチャンピオンシップ2008 中西部地区予選

優勝　葉梨中学校
3校が県大会出場

松永杯争奪中西部中学生サッカー大会は、4月20日から16校が決勝トーナメントまで行われた予選リーグから高洲を下して、決勝進出と同時に県大会出場を決めた。


葉梨中学校


島田第一中学校


高洲中学校

準決勝は島田第一がPK戦の末、金谷を破り、葉梨が前後半に1点ずつを奪い、29日にベスト4が激突した。この大会はフリーウェーブカップ静岡県U-15チャンピオンシップの中体連の部の中西部予選を兼ね、上位3校が県大会の出場権を獲得した。

金谷と高洲の3位決定戦は、前半終盤に2度の決定機を決められなかった高洲が、後半8分に中山雄貴のスルーパスから池谷凌大がDFと競りながらもシュートを決めた。金谷も相手ゴールに攻め寄るも、詰めを欠き得点を奪えず、1対0で接戦を制した高洲が最後の県切符を手にした。

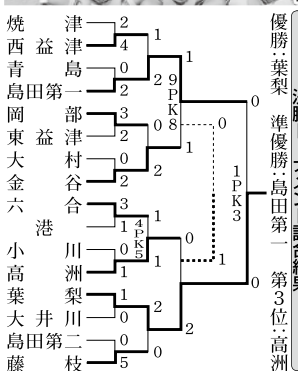
島田第一と葉梨の対戦となった決勝戦は、前半は葉梨が押し気味に進めるも、互いに決め手を欠いた。後半6分に島田第一のFW杉山仁木がDF裏に抜け出すが、1対1の場面で葉梨GK志垣敬祐が好セーブ。試合は共に無得点のままPK戦へ突入した。ここで、葉梨GK志垣が2人目から4人目までを連続で阻止。葉梨が勝利して優勝を飾った。

なお、県大会は5月17日に始まり、決勝は25日に行われる。そして、31日に中体連1位とクラブ1位によるチャンピオンシップが草薙球技場で実施され、県ナンバーワンを決定する。※県大会の組み合わせは2面に掲載

予選リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	焼津	小川	附属島田	――
B	藤枝	東益津	榛原	――
C	六合	大村	和田	――
D	金谷	港	大洲	大富
E	岡部	大井川	豊田	中川根
F	高洲	青島	青島北	相良
G	葉梨	西益津	広幡	川根
H	島田第一	島田第二	吉田	初倉

決勝トーナメント試合結果



平成20年度 静岡県高校総合体育大会（男子サッカー）
中部地区大会
４校が県大会出場権獲得

高校総体男子サッカーの中部地区大会は5月4日まで行われ、県大会に出場する12校が決定した。8組に分かれて争われた1次リーグから、まずは各組の1位8校が県大会の出場権を得て、トーナメント戦を行い順位を決定した。続く各組2位の8校は更に2組に分かれてリーグ戦を行い、両組の上位2校の4校が県切符を獲得した。

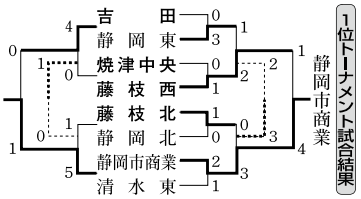
中西部勢では1位トーナメントに勝ち進んだ藤枝西、藤枝北、吉田、焼津中央の4校が県大会出場を決めた。

1次リーグ戦最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	吉田	静岡東	焼津中央	藤枝西
2	東海大翔洋	清水西	聖光学院	静岡
3	静岡商業	島田商業	静岡大成	焼津水産
4	城南静岡	清水国際	庵原	清水南
5	――	相良	――	――

順位	Eブロック	Fブロック	Gブロック	Hブロック
1	藤枝北	静岡北	静岡市商業	清水東
2	静岡市立	静岡西	榛原	科学技術
3	島田	島田工業	川根	静岡城北
4	静清工業	島田学園	大井川	静岡南

1位トーナメント試合結果



2位リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

静岡西 2―0 静岡市立
科学技術 1―0 榛原

静岡市立 4―1 榛原
静岡西 2―0 科学技術
静岡市立 2―1 科学技術
静岡西 3―0 榛原

【順位】①静岡西②静岡市立③科学技術④榛原


榛原 VS 大井川

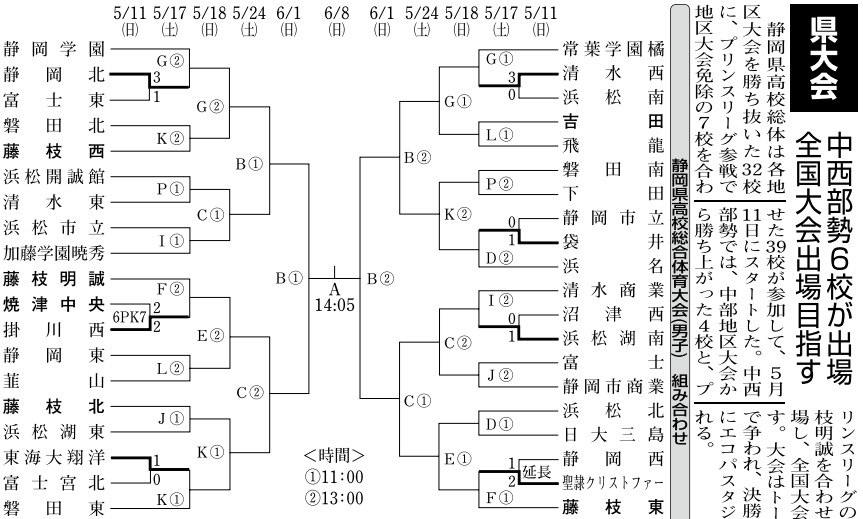

島田学園 VS 島田工業


島田商業 VS 相良

県大会
中西部勢6校が出場 全国大会出場目指す

静岡県高校総体は各地区大会を勝ち抜いた32校に、プリンスリーグ参戦で地区大会免除の7校を合わせた39校が参加して、5月11日にスタートした。中西部勢では、中部地区大会から勝ち上がった4校と、プリンスリーグの藤枝東、藤枝明誠を合わせた6校が出場し、全国大会出場を目指す。大会はトーナメント戦で争われ、決勝は6月8日にエコパスタジアムで行われる。

静岡県高校総合体育大会（男子）組み合わせ



<会場>
A：エコパスタジアム　B：愛鷹多目的競技場　C：藤枝総合運動公園陸上競技場
D：遠州灘海浜公園球技場　E：藤枝市民グラウンド　F：藤枝東高校
G：とこはグリーンフィールド　I：清水商業高校　J：藤枝北高校
K：磐田東高校　L：吉田高校　P：浜松開誠館高校

新たな挑戦

㈶静岡県サッカー協会
中西部支部４種委員長
永井　厚生

私は島田第一サッカース育園との連携などを進めながら、中西部支部の各地区ポーツ少年団の代表として、普及活動の一環で10年前に幼稚園（U・6・5）を立ち上げました。また、島田市4種委員長の立場からキッズサッカーフェスティバルを協会の協力を得て開催し7年になります。毎年200名を超える幼稚園、保育園児が参加してくれます。現在、島田の4種の登録人数は低学年を中心に増える傾向にあります。今年度は中西部で一番登録人数が多くなりました。これもこのキッズサッカーフェスティバルの効果だと思っています。今年度から中西部支部の4種委員長を受け、（幼稚園児対象の）各スポーツクラブ、各地区幼稚園、保育園との連携などを進めながら、中西部支部の各地区でも、キッズサッカーフェスティバルの開催、各チームでの幼稚園の立ち上げを推進して、底辺からの普及を目指したいと考えています。

また、他支部で問題になっている新しいクラブチームによる安易な選手の引き抜きも、中西部の全てのチームが、このように幼稚園から普及活動をやっていけば、クラブチームも同じようにしなくてはならなくなると考えます。（クラブチームの立ち上げ、選手の移籍を否定するものではありません）ご協力よろしくお願い申し上げます。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 6
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成20年度 (財)静岡県サッカー協会 中西部支部 総会

平成20年度の(財)静岡県サッカー協会中西部支部総会が、５月24日に藤枝エミナースで開かれた。まず、萩原昌明会長が挨拶され、在任８年間の関係者の努力と協力に対してお礼を述べられた。続いて議事では、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算などの説明が行われ、満場一致で承認された。また、役員改選に伴い、中西部支部会長が萩原会長から富澤静雄新会長に引き継がれた。

その後、昨年度に好成績を収めたチームや選手などの表彰が行われ、表彰状などが贈られた。

萩原昌明氏 中西部会長を退任



萩原会長(左)から富澤新会長に引き継がれた

平成19年度で８年間の長きに亘って、中西部サッカー協会の活動にご尽力頂きました。藤枝東高校、藤枝明誠高校長を歴任し、視野の広さと豊かな見識のもとに競技力の向上、サッカーの普及に取り組まれました。特に２００２年ワールドカップ、藤枝市でのセネガル・ベースキャンプ。国体、全日本ユース等の全国規模の運営に携わるとともに、中西部の各種大会の普及、強化に努められました。今後のご健勝を心よりお祈り致します。

平成19年度 (財)静岡県サッカー協会中西部支部 功労表彰者（敬称略）

(1) 功労者

萩原　昌明　　八木　敏夫　　浦田　敏己　　池谷　英人　　池谷多喜夫
(以上、前中西部支部役員)

(2) 優秀指導者

岩科　信秀（矢崎バレンテフットボールクラブ）
大石　正之（藤北クラブ）
吉野　友三（藤枝東高校サッカー部）



功労者が表彰された

(3) 優秀団体

藤枝市役所サッカー部
　第37回全国自治体職員サッカー選手権大会　優勝
矢崎バレンテフットボールクラブ
　第43回全国社会人サッカー選手権大会　準優勝
藤北クラブ
　第14回全国クラブチームサッカー選手権大会静岡県大会　優勝
藤枝東高校サッカー部
　第86回全国高校サッカー選手権大会　準優勝
　平成19年度全国高等学校総合体育大会静岡県大会　優勝
藤枝順心高校サッカー部
　第16回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東海大会　優勝
　第11回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会東海大会　優勝

(財)静岡県サッカー協会中西部支部　平成20年度重点目標

１．全国大会の開催・運営

★高円宮杯第19回全日本ユース(U－18)サッカー選手権大会　1次Ｒ・決勝Ｒ１回戦
　藤枝総合運動公園サッカー場　　９月７日・13日・15日・21日
★第８回全国シニア(60歳以上)サッカー大会・シニア(70歳以上)フェスティバル
　藤枝総合運動公園サッカー場他　　５月31日・６月１日
★第13回東西大学交流サッカー大会
　藤枝市民グラウンド他　　８月22日・23日・24日

２．指導者の育成と資質向上

指導者の重要な役割を心に留め、正しいものを指導できる指導者であり、常に資質向上を目指す指導者であってほしい。

３．普及・強化

ＪＦＡ２００５年宣言を受けて、サッカーファミリーの拡大を図ると共に地域住民にサッカーへの関心を高め、生涯スポーツとしてのサッカーの普及とサッカー文化の確立を図る。中西部支部の更なる発展のためアカデミー活動を充実させ、将来日本を代表する選手の育成と各チームの強化及び多くのチームの全国大会への出場を目指す。

４．審判員の養成と技術の向上

サッカーのレベルアップには審判員の充実と審判技術の向上が不可欠である。

シニアの全国大会　藤枝で開催

今年度、本支部の重点目標にもなっている、全国シニア（60歳以上）サッカー大会と、シニア（70歳以上）サッカーフェスティバルが、５月31日、６月１日に藤枝総合運動公園サッカー場などボールを追っていた。


静岡県選抜Ｂ


静岡県選抜（70）

藤枝市内の４会場で開催された。元日本代表など、様々な経歴を持つ選手たちが、いきいきとプレーし、生涯スポーツとしてのサッカーを楽しみながらも真剣

31日には、元日本代表の釜本邦茂氏が参加したスペシャルチームと女子チームの藤枝ＦＣアミーガとのスペシャルマッチが行われた。釜本、瀧利明（藤枝東ＦＣ監督）両氏の得点でスペシャルチームが勝利。観衆を沸かせた。

第8回 全国シニア（60歳以上）サッカー大会

16チームが４組に分かれてリーグ戦を行い、各組毎に順位を争った。静岡県からは県選抜Ａ・Ｂ２チームが出場。中西部の選手が多数参加した静岡県選抜Ｂは、３試合を12得点、失点０で全勝し、１位で大会を終えた。

●試合結果
静岡県選抜Ｂ　２―０　TOMAT OシニアGO60
静岡県選抜Ｂ　６―０　山形60サッカークラブ
静岡県選抜Ｂ　４―０　ゴールドフェニックス福井

静岡県選抜Ｂ

番号	位置	氏　名
1	ＧＫ	森田　高志
3	ＤＦ	梅原　勝彦
4	ＤＦ	富沢　清司
5	ＤＦ	金高　隆司
6	ＤＦ	萩原喜久雄
7	ＭＦ	芳賀佳四郎
8	ＭＦ	鈴木　駿
18	ＭＦ	高田　稔
10	ＦＷ	桑原　勝義
11	ＭＦ	杉山　隆一
12	ＦＷ	安藤　洋志
13	ＭＦ	谷澤　仙夫
15	ＤＦ	村越　廣
16	ＭＦ	村松　眞行

シニア（70歳以上）サッカーフェスティバル

14チームが参加して、各チーム１日１試合の２試合を実施。中西部関連の選手が数名入る静岡県選抜が出場し、２戦２勝した。

●試合結果
静岡県選抜（70）　１―０　中国連合軍ＦＣ湘南ペガサス
静岡県選抜（70）　３―０

静岡県選抜(70)

番号	位置	氏　名
1	ＧＫ	大山　恭義
2	ＤＦ	鈴木　常夫
3	ＤＦ	杉村　勇
4	ＤＦ	浄見　元昭
5	ＤＦ	岩切　慶造
6	ＭＦ	柴田　二郎
7	ＤＦ	萩原　孝治
8	ＭＦ	八神　英典
9	ＤＦ	鷲巣　増雄
10	ＭＦ	森川　雅之
11	ＦＷ	安間　宏
12	ＦＷ	八木　敏夫
13	ＦＷ	大塚　陽久
14	ＦＷ	橋本　忠廣

新たな挑戦

藤枝市サッカー協会
理事長
下田　勉

～就任にあたって～

このたび、藤枝市サッカー協会の役員改選により、理事長に就任させていただくことになりました。

今日まで、歴代の皆様が築き上げてこられた数々の功績を考えれば、その責任の重さを痛感しております。

藤枝市のサッカーは古い歴史と伝統を持ち、環境においても今では藤枝総合運動公園サッカー場、陸上競技場において数々の全国大会が展開されるまでになりました。

この恵まれた環境を有効に活用し、キッズからレディース、シニアに至るまでのサッカー人口を増やすことが、私たちに課せられた使命だと考えています。

再びサッカー熱を感じます。今さら私が紙面をお借りして申し上げるまでもなく、今年１月の国立競技場を埋めた〝藤色〟を見た皆様にはお解かりいただけると思います。

藤枝市サッカー協会は、これから財政問題を含め課題は山積しておりますが、私自身の〝サッカーへの恩返し〟だと思い精一杯努力させていただきますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 7
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝西　６年ぶりに全国の舞台へ



藤枝順心　５年連続出場

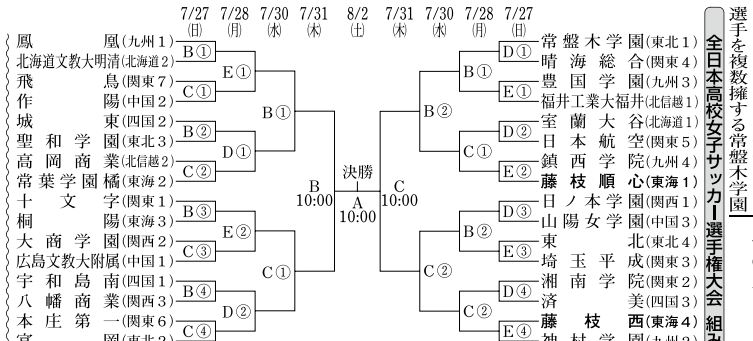


第17回 全日本高校女子サッカー選手権大会
目指せ全国制覇！

東海地区予選を勝ち抜いた藤枝順心と藤枝西が出場する全日本高校女子サッカー選手権大会は、７月27日から８月２日まで磐田市で開催される。今回から出場校数が昨年より８校多い32校となり、16校参加だった11回大会までと同じ、全てノックアウト方式のトーナメント戦で争われることになった。

５年連続出場となる藤枝順心は、勝ち進めば準々決勝で昨年ベスト４で日本女子代表やＵ－17日本女子代表などの選手を複数擁する常盤木学園と当たる可能性が高い。持てる力を充分に発揮して、２年ぶり２回目の全国制覇を目指してほしい。

全日本高校女子サッカー選手権大会 組み合わせ



＜会場＞A：ヤマハスタジアム　B：ゆめりあサッカーグラウンド　C：ゆめりあ多目的グラウンド
D：竜洋スポーツ公園　E：磐田市陸上競技場
＜時間＞7/27＝①9:00　②11:15　③13:30　④15:45
7/28・30＝①９:30　②12:30

６年ぶり出場の藤枝西高校メンバー

位置	氏　名	学年	前登録チーム
GK	片岡　晴香	3	大井川中学校女子サッカー部
GK	濱崎　美佳	3	榛原中学校女子サッカー部
DF	加藤みなみ	3	藤枝ＦＣアミーガ
DF	滝口あきら	3	藤枝ＦＣアミーガ
DF	萩原　淑	3	藤枝ＦＣアミーガ
DF	吉岡　綾音	3	榛原中学校女子サッカー部
MF	渋谷　里美	3	藤枝ＦＣアミーガ
MF	神谷　淳子	3	藤枝ＦＣバンビーズ
MF	杉山　里菜	3	藤枝ＦＣアミーガ
FW	安間真理子	3	榛原中学校女子サッカー部
FW	松島　史織	3	大洲サッカースポーツ少年団
MF	石川　咲	2	藤枝ＦＣアミーガ
MF	三橋　香穂	2	藤枝ＦＣアミーガ
MF	飯田　実来	2	藤枝ＦＣアミーガ
MF	太田良恵愛	2	港中学校サッカー部
GK	松澤　裕美	1	藤枝ＦＣアミーガ
MF	渋谷　美紀	1	大井川中学校女子サッカー部
MF	川上　倫瑠	1	なし(岡部中学校出身)

１９９８年第７回大会から２００２年第11回大会までで５年連続で全国大会に出場し、８回と10回大会では共に３位に輝いた藤枝西が、６年ぶりに全国の舞台に登場する。その初戦で昨年準優勝の強豪神村学園と対戦する。厳しい試合が予想されるが、全力で臨んでほしい。

高洲南SS　第３位



青島東SS　準優勝



第23回 サークルKサンクスカップ 静岡県キッズU－10 ８人制サッカー大会

サークルKサンクスカップ静岡県キッズU－10・８人制サッカー大会は６月14日、15日に小笠山運動公園で行われ、青島東サッカースポーツ少年団が準優勝、高洲南サッカースポーツ少年団が３位入賞を果たした。32チームが８組に分かれて予選リーグを行い、各組の１位８チームが決勝トーナメントに進出。中西部勢では島田第一、青島東、高洲南の３チームが決勝トーナメントに進んだ。

１回戦で青島東はテンマに、第３ピリオドの得点で勝利した。池田太成のドリブル突破から夏賀晃太、伊藤充がそれぞれ決めて２点をゲット。１点を返されるも、鈴木魁人のドリブルシュートで突き放した。

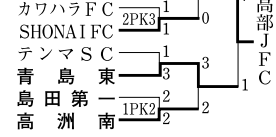
一方、島田第一と高洲南は１回戦で対戦。第一ピリオドに高洲南が決定機を確実に得点に結び付け、後藤達弥と柴崎航士郎のゴールで２点を奪った。逆に島田第一はシュートが枠に嫌われるなどで決められずにいたが、第３ピリオドで平松昇の２得点で追い付いた。試合はＰＫ戦に突入し、１対１で迎えた３人目に、ＰＫ戦でＧＫを務めた柴崎が島田第一のキックを止め、高洲南が勝利を収めた。

続く準決勝でも、青島東と高洲南の直接対決となった。青島東が開始早々の２分にＰＫを、３分にはＦＫを、共に池田が決めて２点のリードを奪った。高洲南もメンバーが替わった第２ピリオドの開始50秒に、中谷侑吏のパスを鈴木貫太が押し込み１点差とするも、第３ピリオドの50秒にも後藤がＰＫを決めて追い付いた。青島東の決勝の相手は、予選リーグ３試合で27得点、準決勝も８対０と圧倒的な攻撃力をみせる高部ＪＦＣ。第１ピリオドで３失点し、第２・第３ピリオドにも２点ずつを加えられた青島東は、第２ピリオドに加藤航太の得点で１点を返すにとどまり、１対７で敗れた。

予選リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	高部ＪＦＣ	篠　原	三　島　東	浜松西小
B	テンマＳＣ	静岡城内ＦＣ	**焼　津　南**	マーレＦＣ
C	カワハラＦＣ	バディＦＣ	**焼津豊田**	長泉アミーゴス
D	**島田第一**	入　江	飯　田	ドリームＪＳＣ
E	ピュアＳＣ	三島北ＦＣ	芳　川	磐田第一
F	**青　島　東**	聖隷ＪＦＣ	片浜クラブ	ANTHEM SC
G	SHONAI FC	**島田第二小**	静岡中田	吉原第一ＪＳＣ
H	**高　洲　南**	岡　小	大富士ＦＣ	青城ＪＦＣ

決勝トーナメント試合結果



新たな挑戦

ブンデスリーガ
ヴォルフスブルク
長谷部　誠

～長谷部誠選手からのメッセージ～

皆さんこんにちは、長谷部誠です。

僕はドイツに行って半年が経ちました。この半年は試合にも出ることができましたし、新しい経験ばかりだったので、とても充実したものでした。

よく質問を受けるのは「ドイツと日本の違いは」というものです。もちろん体格などは全然違いますが、僕の一番違うと感じたことは「勝利」に対する執着心です。試合はもちろん練習でも勝ったら大喜びしますし、負けたらすごく悔しがります。それは僕自身も忘れかけている事だと思います。だから、今の少年達にはそういう勝ちに対する執着心を持ってほしいと思います。元々、人間誰でも持っているものですから、忘れないでプレーしてもらいたいです。

さて、９月から日本代表チームは最終予選が始まります。僕もその一員として貢献できるように、まずはドイツで良いプレーをして、また呼ばれるように頑張りたいと思います。ドイツは遠いですが、遠い日本から応援していただけたら嬉しいです。

青島東・高洲南 チビリンピック東海大会出場権獲得

この大会はＪＡ全農チビリンピックＵ－10・８人制大会の予選を兼ね、準優勝した青島東と３位の高洲南が、上位４チームに与えられる東海大会（２００９年１月17日、18日、岐阜県）の出場権を獲得した。

藤枝市出身で日本代表の長谷部誠選手（ヴォルフスブルク）から本紙にメールが届いた。２００８年１月に入団し、レギュラーに抜擢され、12位から５位に躍進する原動力となった。８月開幕の新シーズンを始め、ユーロカップへの出場権も獲得し、その活躍が期待される。また、Ｗ杯アジア３次予選ではボランチとして出場した。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 8
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第61回 静岡県中学校総合体育大会 サッカー競技

静岡県中学校総合体育大会サッカー競技は7月27日から31日まで、藤枝総合運動公園を主会場に行われた。中西部からは岡部、藤枝、西益津、焼津、葉梨の５校が出場。その中で西益津が２回戦で静岡服織にＰＫ戦の末に勝利して準々決勝に進出した。ここで浜松開誠館には敗れたが、中西部勢で唯一ベスト８入りした。

また、２回戦で静岡学園と対戦した葉梨は、前半に先制を許すも、後半終了近くにＰＫを得て、それを伊久美勇史が決めて追い付いた。だが、延長前半に勝ち越し点を許し惜敗した。同じく２回戦で焼津が、５月のフリーウェーブカップでベスト４入りした浜松天竜と対戦。好機に決め切れず、前半８分の失点で惜しくも敗れた。

平成20年度 志太・榛原支部中学校総合体育大会 男子サッカー

優勝 岡部中学校 ５校が県大会出場


岡部中学校

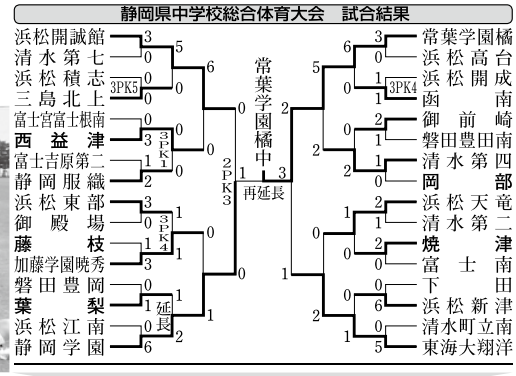

藤枝中学校

志太・榛原支部中学校総合体育大会の男子サッカーは、予選リーグを勝ち上がった16校による決勝トーナメントが7月13日、19日、20日に藤枝総合運動公園な


西益津中学校

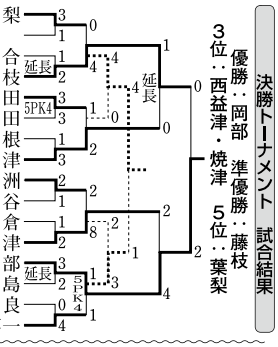
西益津が県大会で８強入り

静岡県中学校総合体育大会　試合結果




焼津中学校

決勝トーナメント　試合結果



優勝：岡部　準優勝：藤枝
３位：西益津・焼津　５位：葉梨

どで行われた。５校に与えられる県大会の出場権をかけて熱戦が繰り広げられた。

２回戦を勝ち上がりベスト４入りを決め、まずは県大会へ名乗りをあげたのは藤枝、西益津、焼津、岡部の４校。

準決勝、藤枝と西益津の試合は、西益津の攻勢をＧＫ高地柊の好セーブなどでしのいだ藤枝が、延長後半３分の石田辰也の決勝弾で接戦を制した。

焼津と岡部の一戦は、後半に点の取り合いとなった。焼津が服部慶太郎のゴールで２点を奪えば、岡部泰士が決めてリードを広げた。島田第一は前半のシュートが相手ＧＫの好守やゴールの枠に嫌われるなどで決められず、後半26分の伊藤恵太のゴールで１点を返すに止まった。葉梨が最後の県切符を手にした。

残る５枚目の切符をかけて吉田を破った葉梨と高洲を下した島田第一が対戦。前半18分に渡邊寛之のゴールで先取点を奪った葉梨が、積極的にシュートを狙った後半19分と伊久美勇史が、22分には田山


葉梨中学校

は田山翔のハットトリックなどで４点を挙げて終盤に突き放した。

藤枝と岡部の対戦となった決勝は、岡部が前半24分に高橋晨太の左クロスを清水孝祥が蹴り込み、28分には高野太の右クロスを村越力が頭で押し込んだ。藤枝も相手ゴール前に詰め寄るも決定的な形を作れず、前半に２点のリードを奪った岡部がそのまま逃げ切り、優勝を飾った。

志太・榛原支部 旧優勝旗返還・新優勝旗贈呈式



中西部や藤枝市、焼津市、島田市、榛原の各サッカー協会の寄贈で、今年新たに優勝旗が作られ、旧優勝旗の返還と新優勝旗の贈呈式が７月20日の決勝戦の前に行われた。歴史が刻まれたこれまでの優勝旗が、内藤貴久中体連志太榛原支部サッカー部長から滝本義三郎中西部３種会長に返還され、新優勝旗が滝本会長から内藤部長に手渡された。

その後の決勝で勝利し、新優勝旗を初めて手にしたのは岡部中学校となった。

技術委員会

㈶静岡県サッカー協会
中西部支部3種技術委員長
下田　友規

中学生年代において大切にすべき事
～中体連志太榛原・県大会を通して～

さて、今年の我が地区の代表はそれぞれのチームが特徴を持っていた。その中で伝統校の西益津中が縦にし、橋、静岡学園を見れば見るほど避けて通れない課題である。

辛口なコメントばかり並べたが、個々のポテンシャルを考えれば今年こそはベスト４に進出するチームがあっておかしくなかったと思う。大いに残念である。

打倒私学ビッグ４という志太榛原中体連チームの目標は達成できなかったが、来年こそ１年間テーマを設定したトレーニングを積み、顧問同士の横の連携を図りながら、何とか実現したい。

そのためにも各チームが新人戦地区大会に向けて準備をしていってほしい。練習←ゲーム←練習←ゲームの繰り返しの過程でより質をアップしていかねばならない。今からやらねばならない事は山ほどある。

①消耗を伴う環境の中でのプレーであるのでボールを大事につなぐ事。ロングボールを多用するチームも残念ながら存在する。

②ボールの奪い方を整理したい。どこでプレッシャーを掛け、いつ取りきるのか。チームの共通理解があいまい。そのために必要なひたむきな姿勢、運動量の足りないチームが志太榛原地区にも多かった。

③１対１の強さが欲しい。特に相手ゴール前でひ弱である。正直に言えば時間のかかるテーマである。しかし、橋、静岡学園を見れば開誠館に屈したが大きな展開からベスト８に進出したのは評価できる。葉梨中は準優勝校の静岡学園をつなぐサッカーと個人技で徹底的に苦しめた。両校の足跡から志太榛原地区への確かな教材をいくつか見つけることができた。まず３点を挙げたい。

新たな挑戦

藤枝東高校サッカー部
監督
大石　和孝

～高校の監督になって～

県の派遣により、専門技術を持つ人がその技術を教える特任教諭として、今年４月から藤枝東高校に赴任しました。これまで、Ｊリーグのトップチームやユース、ジュニアユースなどで指導してきましたが、学校体育の中で全国の頂点を目指すのは、自分の中で新たな挑戦でした。サッカーにおいては、ハード面などでＪリーグの下部チームの方が恵まれていると思いますし、クラブチームは二十数人の限られた選手をみるだけですが、高校では部員全員をみながら、強化もしていかなければならないのは難しいところです。

サッカーで一番大事なものはハートだと思います。頂点に立つには一本筋の通った強い意志が必要になってきます。勉強も学校行事もする中で、サッカーにも強い信念を持ってほしいと思います。

クラブ選手と高校生では技術の差もあります。ボールを止めたら次にドリブルかシュートかパスがあり、一連して技術を発揮できるところまではいっていません。また、その判断の速さも必要になります。止めて蹴るだけでなく、状況判断を踏まえた技術を３種までに習得していれば、高校に来てから選手達がもっと楽にプレーできるでしょう。

これから選手権に向けて、個のたくましさが大事になってきます。自分の主張もでき周りを助けられる、リーダーシップをとれるようにならないといけません。自分で判断しプレーする事ができれば強さも増すと思います。将来、社会に出てリーダーになっていくであろう生徒達ですから、それを身に付けグラウンドの中で発揮してほしいものです。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 9
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第13回スルガカップ争奪　静岡県サッカー選手権大会
第88回天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県予選

矢崎バレンテFC　初優勝

決勝大会



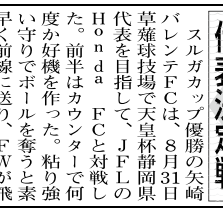
スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会は、８月３日、10日、24日に決勝大会が行われ、矢崎バレンテFCが初優勝した。

準決勝で静岡産業大学をPK戦の末に破って、決勝に進んだ矢崎バレンテの相手は浜松大学。サイドのスペースをついて攻め込む矢崎バレンテが、前半10分に鈴木孝博のCKを大森敬之がDFと競って落とすと杉本康介が蹴り込んで先制した。20分には鈴木のFKを井口大輔がヘッドで押し込むと、40分にも千葉武のクロスを井口がワントラップシュート。３点のリードを奪った。後半は相手に反撃を許し、10分に１点を返される。22分に櫻井将太が決めて再び突き放すと、41分に失点し２点差とされるも前半の貯金を活かして逃げ切った。

天皇杯代表決定戦

スルガカップ優勝の矢崎バレンテFCは、８月31日草薙球技場で天皇杯静岡県代表を目指して、JFLのHonda FCと対戦した。前半はカウンターで何度か好機を作った。粘り強い守りでボールを奪うと素早く前線に送り、FWが飛び出しこぼれ球を狙った。だが、17分の萩田祐介のシュートはポストに弾かれるなど、決定機を生かせない。後半はパスの出し手を抑えられ、守勢を強いられる。その中でも31分に井口がDF裏に抜けシュートを放つも枠を外れ、またも先制のチャンスを逃した。すると２分後に中央から決められ、追う展開に。そして、40分にはPKを与えてしまい２点差とされ、このままタイムアップ。残念ながら、矢崎バレンテの天皇杯出場はならなかった。

試合結果
天皇杯出場：Honda FC



国民体育大会　第29回東海ブロック大会
サッカー競技

静岡県選抜　成年男子・少年男子が本大会出場

国民体育大会の東海ブロック大会が８月16日、17日に愛知県で行われた。静岡県は成年男子と少年男子が本大会の出場権を獲得した。

成年男子

静岡の相手はJFLのFC刈谷の選手が主体の愛知。安定した守りとサイドを基点にスピードを活かした攻めで押し気味に進めるも、FWへボールが合わず得点機を作れない。相手の運動量が増え、守勢になった後半立ち上がりの３分に失点し先制を許す。だが、12分にPKを得ると、池田が一旦は止められるがやり直しで決めて同点とした。その後は互いに決定機を逃し、試合は延長戦へ。そして、PK戦突入かと思われた延長後半ロスタイムに、クリアボールを清野が豪快に蹴り込み決勝点を奪って、静岡が本大会出場を決めた。

試合結果
静岡県 2−1 愛知県（延長）


成年男子　静岡県選抜

	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県	勝点	順位
静岡県		●1−2 ○2−1	○3−0 ○3−2	○6−0 ○3−0	15	1
岐阜県	○2−1 ●1−2		△0−0 △0−0	○3−1 ○1−0	11	2
愛知県	●0−3 ●2−3	△0−0 △0−0		○2−1 △1−1	6	3
三重県	●0−6 ●0−3	●1−3 ●0−1	●1−2 △1−1		1	4

試合結果

少年男子

６月７日から行われた東海U−16リーグを国体予選として、４県の総当たり２回戦で争われた。静岡は前半戦に藤枝明誠高校２年のDF藤原賢士と藤枝東高校１年のMF海野智之が出場した。

中西部の選手では、前半戦に藤枝明誠高校２年のDF藤原賢士と藤枝東高校１年のMF海野智之が出場した。

静岡県選抜

監督兼選手		石神　良訓	藤枝東ＦＣシニア
コーチ兼強化選手		河村　憲生	藤枝市役所
コーチ兼強化選手		鈴木　大揮	藤枝市役所
No.	位置	氏　名	登録チーム
1	ＧＫ	長谷川　敦	藤枝市役所
2	ＤＦ	中村　宏昭	矢崎バレンテＦＣ
3	ＤＦ	大森　敬之	矢崎バレンテＦＣ
4	ＤＦ	松尾　昌則	矢崎バレンテＦＣ
5	ＭＦ	池田　末廣	静岡ＦＣ
6	ＤＦ	杉本　康介	矢崎バレンテＦＣ
7	ＭＦ	渡邊　俊	矢崎バレンテＦＣ
8	ＭＦ	海野　創	藤枝市役所
9	ＭＦ	鈴木　孝博	矢崎バレンテＦＣ
10	ＦＷ	井口　大輔	矢崎バレンテＦＣ
11	ＦＷ	萩田　祐介	矢崎バレンテＦＣ
12	ＧＫ	宮城　達也	矢崎バレンテＦＣ
13	ＭＦ	平　憲人	藤枝市役所
14	ＦＷ	清野　智秋	静岡ＦＣ
15	ＦＷ	杉山　和弘	藤枝市役所
16	ＤＦ	石神　良訓	藤枝東ＦＣシニア

女子

愛知と対戦した静岡は、連携がPK戦にもつれ込んだ。そして、愛知が５人全員決めたのに対し静岡は２人目が外して惜敗した。

試合結果
愛知県 0−0（PK5−3） 静岡県

静岡県選抜の中西部勢　女子

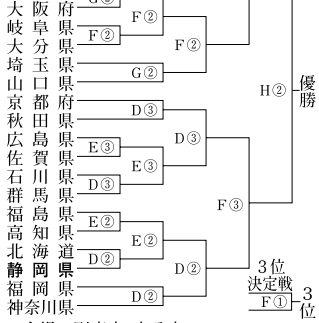
位置	氏　名	登録チーム
ＤＦ	寺田　玲子	静産大磐田レディース（藤枝順心高出身）
ＭＦ	江上　成美	日本体育大学（藤枝西高出身）
ＭＦ	長澤まどか	静産大磐田レディース（藤枝順心高出身）
ＭＦ	長谷川絵梨	イカイＦＣレディース（藤枝順心高出身）

第63回国民体育大会（大分国体）サッカー競技

目指せ　優勝！　中西部勢の活躍に期待

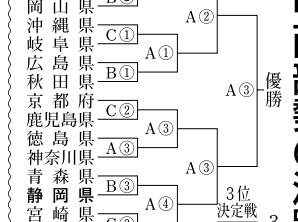
静岡県からは成年男子と少年男子が出場する大分国体サッカー競技は、９月28日から10月２日まで開催される。少年男子は2004年の埼玉国体以来、U−16としては初の優勝を、また成年男子は2001年の宮城国体以来の優勝を目指す。

少年男子　組み合わせ



＜会場＞別府市・大分市
D：別府市営野口原総合運動場陸上競技場
E：別府市営美相寺サッカー競技場
F：大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場A
G：大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場B
H：大分スポーツ公園九州石油ドーム
＜時間＞①９:30　②11:30　③13:30

成年男子　組み合わせ



＜会場＞中津市
A：中津総合運動場（サッカー場）
B：三光総合運動公園多目的広場
C：禅海ふれあい広場（人工芝）
＜時間＞①　9:30　②11:30　③13:30　④15:30

新たな挑戦
～第９回静岡世界少年サッカー大会コーチングクリニックに参加して～

静岡県トレセンU-11コーチ
長谷川 圭介

毎年、８月下旬に開催される静岡世界少年サッカー大会で行われるコーチングクリニックは、世界のプロの指導者を招いて実施される指導者のための勉強の場である。今回はJリーグ育成リーダーの池谷孝氏と共にフランスのルマンと柏レイソルのゲーム分析を行い、抽出した課題を克服するトレーニングメニューを実践し、ルマンU−12コーチのゲ・ステファン氏による選手育成に関する考え方及び実技指導を受けるなど、内容の濃いものだった。

U−12育成年代において池谷氏とステファン氏が共通して大切だと挙げていたのが、試合の中でコーチがベンチから選手をコントロールするのではなく、選手が自ら考えて解決策を見出せるような指導であり、試合に勝つ為だけが目的でなく、選手に様々な経験を積ませ、良い内容の試合をする事が大事であるとしていた。ステファン氏が言う良い内容とは、勝っても負けても、相手よりも優位に試合を進め、相手選手が嫌がるような賢いプレーをし、普段指導している事が勇気を持って試合の中で発揮されている事であると示していた。我々指導者が最も苦悩する育成年代における勝利と経験の考えの中で、目先の勝利だけではなく、５年後、10年後の選手の姿を描きながら、試合の中で選手に様々な経験を積ませ、日々の指導をしていく事が大事であると強く感じた。

ステファン氏はU−12の日本の選手に対する印象として、足先の技術はすばしいが、体の使い方を覚えればよくなるのではと語っていた。この課題は、この世代だけでなくトップの世代にもあてはまる事である。特に日本の選手は接触プレーで倒れやすい。今回はこれをテーマに実技指導が行われ、特に対敵における腕の使い方、バランスの取り方の指導に始まり、ゲームの中では日本の選手に見られるパス回しについても指摘していた。日本人の失敗をしてはいけないという強い思いから、ゴールを奪うという目的よりもボールを失わないことが優先され、大事な部分が欠如していると感じた。今回の試合の中でも、ルマンの選手は一瞬の隙を見つけ、多少遠くてもゴールを狙ってくるのに対して、レイソルの選手は同じような場面でドリブルやパスを選択しており、特にゴール前での違いが顕著に現れていた。こうした部分も今後の日本の課題であると感じた。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 10

発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第63回国民体育大会　サッカー競技

成年男子　静岡県選抜第3位



9月28日から10月1日まで行われた大分国体サッカー競技の成年男子の部で、静岡県が3位入賞を果たした。選抜チームで臨み、中西部勢は14名が出場し、3位獲得に貢献した。

初戦で青森県（選抜）と対戦した静岡県は、清野、池田の得点で2対1で勝利した。準々決勝はホンダロック主体の宮崎県と対戦。シュート数では相手が上回るも、静岡は確実に得点に結びつけ、清野が前半に2得点。後半には、交代出場した杉山が直後にFKを頭で合わせて3点目を決め突き放し、優勝した2001年の宮城国体以来の4強入りした。

準決勝の相手はJFL佐川印刷SCの単独チームで、今大会優勝の京都府。「高さとパワーで相手が上だった。こぼれ球を拾えず、ラインが下がり中盤があいてしまった」と石神監督が振り返る試合は、前半15分の失点で主導権を握られ、後半11分にも追加点を許しリードを広げられる。だが、ロスタイムに平のパスを受けた井口がDFをかわして放った静岡唯一のシュートは、弧を描いてゴールへ吸い込まれた。敗れはしたが、一矢報いる一弾は翌日につながる1点となった。

3位決定戦に進んだ静岡県は、FC岐阜SECONDの単独チームの岐阜県と対戦。前半12分に先制を許すも、31分に井口が決めて同点とした。後半開始間もなく、杉本から鈴木、清野へとつないで勝ち越すと、相手の運動量が落ち、9分には3点目をゲット。GK宮城のフィードが清野に渡り、ゴール前でフリーになった井口へパス。これを井口がキッチリ押し込んだ。終盤には選手登録をしていた石神監督が交代出場。ロスタイムに1点を返されるも、そのまま逃げ切った。

前日までの雨から一転、好天となり状態も良くなったフィールドで「静岡のパスサッカーを見せられた」と石神監督。連携の取り易い単独チームが多い中で、選抜チームとして臨み「互いの長所を認め合ってできた」（松尾主将）結果が、3位という成績を残した。


静岡県　VS　京都府

試合結果
〈1回戦〉静岡県 2―1 青森県
〈準々決勝〉静岡県 3―0 宮崎県
〈準決勝〉京都府 2―1 静岡県
〈3位決定戦〉静岡県 3―2 岐阜県

成年男子　静岡県選抜

No.	位置	氏　名	所属チーム
1	GK	長谷川　敦	藤枝市役所
2	DF	中村　宏昭	矢崎バレンテFC
3	DF	大森　敬之	矢崎バレンテFC
4	DF	松尾　昌則	矢崎バレンテFC
5	MF	池田　末廣	静岡FC
6	DF	杉本　康介	矢崎バレンテFC
7	MF	渡邊　俊	矢崎バレンテFC
8	MF	海野　創	藤枝市役所
9	MF	鈴木　孝博	矢崎バレンテFC
10	FW	井口　大輔	矢崎バレンテFC
11	FW	萩田　祐介	矢崎バレンテFC
12	GK	宮城　達也	矢崎バレンテFC
13	MF	平　憲人	藤枝市役所
14	FW	清野　智秋	静岡FC
15	FW	杉山　和弘	藤枝市役所
16	DF	石神　良則	藤枝東FCシニア

日本スポーツマスターズ2008　サッカー競技

静岡県選抜　優勝！



40歳以上の選手が出場する日本スポーツマスターズのサッカー競技が、9月20日から23日まで高知県で行われ、静岡県選抜は2年ぶりに頂点に立った。

静岡県選抜は1次ラウンドのリーグ戦3試合を全勝し、グループ1位で決勝ラウンドのトーナメント戦に進んだ。準決勝ではBon DeBola藤沢と対戦し、後半に吉川のゴールなどで2点を奪って快勝した。決勝は広島フォーティーズが相手。前半に安間、吉川、大木が決めて3対1で折り返すと、後半の失点を1に抑えて逃げ切った。

静岡県選抜の中西部選手

位置	氏　名	所属シニアチーム
GK	良知　力	榛原シニア
DF	谷沢　正	藤枝東FCシニア
DF	前島　祥彦	焼津飛魚SC
MF	原崎　智弘	焼津飛魚SC
MF	日下部　充	藤枝FC
FW	吉川広三郎	藤枝FC
DF	種本　哲也	藤枝東FCシニア
MF	三輪　昌弘	藤枝FC
MF	川村　剛之	藤枝東FCシニア
GK	岩ケ谷佳史	藤枝東FCシニア

1次ラウンド試合結果（静岡県のグループのみ）

Cグループ	兵庫	静岡	山梨	岡山	勝点	順位
兵庫県シニア40選抜		●1―4	●2―3	●0―2	0	4
静岡県選抜	○4―1		○3―1	○1―0	9	1
山梨マスターズ	○3―2	●1―3		○3―2	6	2
シニア岡山FC	○2―0	●0―1	●2―3		3	3

決勝ラウンド試合結果
徳島マスターズ（3PK4）0
広島フォーティーズ 0
静岡県選抜 2
BonDeBola藤沢 0
静岡県選抜 3

少年男子初戦敗退

1回戦で北海道と対戦した静岡県は、相手の倍以上となる14本のシュートを放ちながらも、決定力を欠いて得点できない。逆に後半7分、DFの裏をつかれて失点してしまい、これが決勝点となり惜敗。10年ぶりの初戦敗退を喫した。

静岡県選抜に中西部勢では、藤枝明誠高校2年のDF藤原賢士と藤枝東高校1年のMF海野智之の2名が選出された。


海野　智之
藤枝東高校
1年　MF


藤原　賢士
藤枝明誠高校
2年　DF

試合結果
〈1回戦〉北海道 1―0 静岡県

第24回 全国選抜フットサル大会

静岡県選抜　準優勝
中西部2選手が貢献

9月13日から15日まで青森県で開催された全国選抜フットサル大会で、静岡県選抜が準優勝した。前回大会で優勝している静岡県選抜は、昨年と同じくシードとなった決勝で、北海道選抜に4対5で敗れ連覇はならなかった。

静岡県選抜には、中西部から内藤修弘（Hero FC）と門田雄輔（Estrelado／焼津FC）の2選手が選ばれ、準優勝に貢献した。

静岡県選抜の中西部選手

氏　名	登録チーム
内藤　修弘	Hero Futsal Club（大洲中学校出身）
門田　雄輔	Estrelado/焼津FC（初倉中学校出身）

新たな挑戦

矢崎バレンテフットボールクラブ
代　表
大塚　昇

～天皇杯出場への挑戦～

我々、矢崎バレンテFCは東海社会人サッカーリーグに所属し14年目のシーズンに入っております。活動のメインは、リーグ戦、そして全国社会人サッカー選手権大会です。天皇杯予選は毎年出場しておりますが、チーム内に壁を置かない伝統があり、戦う前のモチベーションもなり低く、過去勝った記憶もありません。しかし、今年からチームの方針を昨年の『王座奪還』から『NEW CHALLENGE』に転換しました。これは、昨年までの実績をクリアーにし、新しい挑戦をしていこうという事です。このことを年初のミーティング時、選手全員に浸透させ意識付けました。これを受け監督を中心に『バレンテの歴史を変えていこう』という声が上がり、天皇杯予選直前には、『天皇杯で全国に出よう』と言うまでになっていました。結果は、スルガカップ優勝を果たし、天皇杯静岡県代表決定戦までこぎつけることができました。残念ながらホンダさんには勝てませんでしたが・・・私はこう思います。サッカーをやる上で『技術・戦術』は勿論大事ですが、一番大切なのは、『高い志をもって目標をはっきりと掲げる』ことではないでしょうか。目標を本当に達成したい（しなくてはならない）のであれば、きっと努力は惜しまないでしょうし、辛くても耐えられると思います。身体的・技術的な面は、やった分だけ自然に身に付きます。

矢崎バレンテFCは天皇杯では悔しい思いをしましたが、悔しさ以上に『俺はやれるぞ』という自信と『格上の本気』を身体で感じさせてもらいました。この経験を生かし、そして常には、『天皇杯で全国に出よう』と言うまでになっていきます。

1次ラウンド試合結果（静岡県のグループのみ）

Cグループ	長崎県	香川県	岡山県	静岡県	勝点	順位
長崎県選抜		○3―0	○3―2	●1―4	6	2
香川県選抜	●0―3		●2―6	●0―12	0	4
岡山県選抜	●2―3	○6―2		●1―2	3	3
静岡県選抜	○4―1	○12―0	○2―1		9	1

決勝ラウンド試合結果
東京都選抜（B1位）1
静岡県選抜（C1位）（4PK5）1 4
北海道選抜（A1位）7 5
兵庫県選抜（2位-1）4

静岡県選抜は1次ラウンドのリーグ戦と決勝ラウンドのトーナメント戦が行われた。

静岡県U-11・12後期トレーニングセンター開講
U-12に8名、U-11に10名が参加

静岡県U-11・12トレーニングセンターは、9月20日に後期の開講式を行い活動をスタートした。U-12（6年生）は36名、U-11（5年生）は56名が参加。中西部からはU-12に8名、U-11に10名が選出された。トレーニングは来年2月まで、合宿を含めて月1回程度行われる予定。

静岡県トレセン中西部選手

U-11（5年生）	
選手名	所属チーム
渡辺　航平	藤枝中央
杉本鷹意斗	高　洲
栗原　健	青島北
片山　潤也	藤　枝
小谷　千秋	焼津西
長谷川　陸	焼津南
山本　滉成	六　合
成岡　敬章	六　合
平松　昇	島田第一
田口　雄太	吉田中央

U-12（6年生）	
選手名	所属チーム
小寺　将意	初倉FC
斉藤　孝輝	広　幡
鈴木　海斗	高　洲
平松　樹	島田第一
川本　鉱平	住　吉
池田　主詩	青島東
小谷　春日	焼津西
金山　晃典	焼津南

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 11
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第32回 全国地域サッカーリーグ決勝大会
矢崎バレンテＦＣが出場　ＪＦＬ昇格を目指す



東海社会人サッカーリーグで２位となった矢崎バレンテＦＣが、日本フットボールリーグ（ＪＦＬ）昇格を目指して、全国地域サッカーリーグ決勝大会に出場する。全国９地域の各社会人リーグや全国社会人サッカー選手権大会で上位となった16チームが参加して、１次ラウンドは11月22日から24日まで鳥取市などで行われ、４組に分かれてリーグ戦で争われる。そして、各組の１位４チームが11月28日～30日に実施される決勝ラウンドに進む。決勝ラウンドはリーグ戦で争われ、上位２チームがＪＦＬへ自動昇格し、３位がＪＦＬ下位チームとの入替戦に臨む。

１次ラウンド 矢崎バレンテＦＣの試合日程

期日	時間	対戦相手
11/22(土)	13:15	ノルビリッツ北海道
11/23(日)	11:00	佐川急便中国
11/24(祝)	13:15	ＦＣ町田ゼルビア

＜会場＞(鳥取市)
コカ・コーラ ウエスト スポーツパーク

決勝ラウンド試合日程

期日	時間	対戦
11/28(金)	11:00	Ａ１位－Ｂ１位
	13:15	Ｃ１位－Ｄ１位
11/29(土)	11:00	Ａ１位－Ｃ１位
	13:15	Ｂ１位－Ｄ１位
11/30(日)	10:00	Ａ１位－Ｄ１位
	12:15	Ｂ１位－Ｃ１位

＜会場＞
石垣島サッカーパークあかんま

グループ分け

Ａグループ	ＡＣ長野パルセイロ(長　野)
	ホンダロック(宮　崎)
	沖縄かりゆしＦＣ(沖　縄)
	バンディオンセ加古川(兵　庫)
Ｂグループ	カマタマーレ讃岐(香　川)
	日立栃木ウーヴァＳＣ(栃　木)
	Ｖ・ファーレン長崎(長　崎)
	アイン食品(大　阪)
Ｃグループ	RENOFA YAMAGUCHI FC(山　口)
	静岡ＦＣ(静　岡)
	Ｇｒｕｌｌａ盛岡(岩　手)
	松本山雅ＦＣ(長　野)
Ｄグループ	佐川急便中国(広　島)
	ＦＣ町田ゼルビア(東　京)
	矢崎バレンテＦＣ(静　岡)
	ノルブリッツ北海道(北海道)



第12回 全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 静岡県予選
藤枝順心高校 準優勝 東海切符獲得

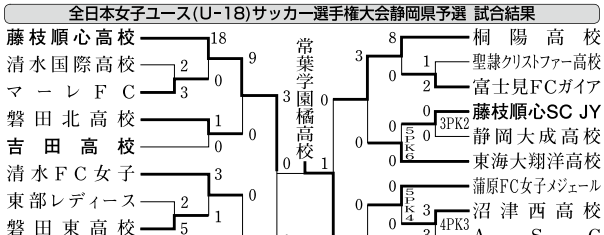
10月４日から11月３日まで行われた全日本女子ユース(U－18)サッカー選手権大会静岡県予選で、藤枝順心高校が準優勝し、上位２チームに与えられる東海大会の出場切符を獲得した。23チームが参加してトーナメント戦で争われ、中西部勢は藤枝順心高校、吉田高校、藤枝順心ＳＣジュニアユース、藤枝ＦＣアミーガ、榛原高校の５チームが出場。その中で、準々決勝までを大勝した藤枝順心高校が準決勝に進み、常葉学園橘中学校と対戦した。前半29分に高野紗希のミドルシュートで先制すると、後半２分に中村ゆしかの折り返しを阪口萌乃が決めて２点目をゲット。26分には右サイドでＤＦ裏に飛び出した若林亜里佐がゴール前に送り、中丸裕未が押し込んで駄目押しとなる３点目を奪い、快勝した。

常葉学園橘高校との決勝は、ボールを支配しサイドへ展開して攻め上がるも、最後の詰めを欠いてゴールを奪えない。すると、34分に相手ＦＷにドリブル突破を許し失点。後半も攻勢を続けるが、ゴール前を固める相手の堅い守りを、最後までこじ開けることができず、惜敗した。

第43回 東海社会人サッカーリーグ 1部 最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	静岡ＦＣ	10	4	0	34	33
2	矢崎バレンテＦＣ	9	2	3	29	25
3	藤枝市役所	8	3	3	27	10
4	中京大学ＦＣ	6	2	6	20	7
5	コニカミノルタSC豊川	5	1	8	16	-15
6	マルヤス工業	4	3	7	15	-9
7	MIND HOUSE四日市	3	1	10	10	-24
8	佐川急便中京支社	3	0	11	9	-27

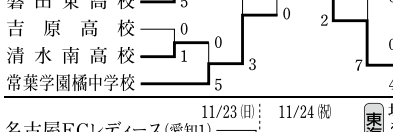
全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会静岡県予選 試合結果



第12回 東海女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 東海予選
藤枝順心高校 全国を目指す

藤枝順心高校が出場する東海女子ユース(Ｕ－18)サッカー選手権大会が、11月23日、24日に岐阜県長良川競技場で行われる。この大会は全日本女子ユース(Ｕ－18)選手権大会の予選を兼ね、上位２チームが出場権を得る。藤枝順心高校は４年連続の全国大会（２００９年１月３日～８日・宮崎県）出場を目指す。

東海女子ユース選手権組み合わせ



＜会場＞岐阜メモリアルセンター長良川競技場
＜時間＞①10:00　②11:30　③13:00　④14:30

第12回 東海女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 第12回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 東海予選
静岡県選抜Ａ 準優勝

12歳以下の女子選手の強化や普及などを目的に、全国９地域でそれぞれに開催される８人制の大会。そのＪＦＡ東海ガールズエイト(Ｕ－12)サッカー大会が、11月１日、２日に愛知県口論義運動公園で行われた。４県から３チームずつの12チームが参加して、４組に分かれてグループリーグを行い、その順位毎に決勝トーナメントで順位を争った。

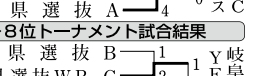
静岡県からは、県トレセン参加選手で構成された県選抜３チームで、小学６年生のＡ・Ｂ２チームと５年生のＣチームが出場した。その中に中西部勢では、静岡県選抜Ａに２名、同Ｂに３名、同Ｃに１名が選ばれて、大会に参加した。

試合は、静岡県選抜ＡとＣがグループリーグでそれぞれ１位となり、１位～４位トーナメントに進出。準決勝でこの２チームが対戦し、静岡県選抜Ａが勝利した。決勝に進んだ静岡県選抜Ａは、名古屋ＦＣレディースに破れて準優勝となった。

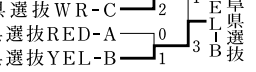
静岡県選抜Ａ

静岡県選抜の中西部選手
静岡県選抜Ａ
選手名 / 所属チーム
仲田　朝香 / 住吉ＳＳ
島村友妃子 / 高洲南ＳＳ
静岡県選抜Ｂ
杉本阿里紗 / 吉田中央ＳＳ
髙木　星菜 / 大富ＳＳ
平松　希望 / 住吉ＳＳ
静岡県選抜Ｃ
飯島　夏生 / 藤枝順心ＳＣ

１位～４位トーナメント試合結果



５位～８位トーナメント試合結果



第6回 JFA東海ガールズエイト(U-12)サッカー大会 第20回 東海女子ユース(U-12)サッカー選手権大会
中西部勢6名が参加



写真後列左から髙木星菜、飯島夏生、平松希望、
前列左から島村友妃子、杉本阿里紗、仲田朝香

2008 ナショナルトレセンU-12東海
中西部２名参加

全国９地域に分かれて実施されるナショナルトレセンＵ－12の東海地域のトレセンが、10月11日から13日まで掛川市つま恋で行われた。静岡県からは、４月からの県トレセンや静岡世界少年サッカー大会で選考された16名が参加。中西部勢では、斉藤孝輝(広幡)と鈴木海斗(高洲)の２選手が選出された。



鈴木　海斗
高洲SS６年



斉藤　孝輝
広幡SS６年

新たな挑戦
～新しい焼津市少年委員会のスタート～

焼津市サッカー協会
４種少年委員会
委員長
黒松　則行

平成20年度の焼津市と大井川町、藤枝市と岡部町の合併を控え30年以上使用してきました志太少年委員会から焼津市少年委員会へ名称を変更し４月より気持ちも新たにスタートしました。今年度で第31回の『志太リーグ』も今年で最後になります。来年度からは『焼津リーグ』として13チームでスタートします。これに伴い今年度から毎年10チームで行ってきた３年生から６年生までの学年別焼津市民スポーツ祭、８月の焼津市招待、４年生以下の教育リーグに大井川の３チームを加え行っています。大井川の３チーム、特に４年生以下の学年はなかなか試合が出来ずにいたところリーグ戦、トーナメントと年間を通して試合が出来る環境が出来、大変喜んでもらっています。

また、新たな試みとして焼津に女子のチームを立ち上げようと考え計画しています。11月より１～６年生の女子を月に数回集めて練習を行う予定でいます。数年前まで焼津レディースがありましたが今は活動していません。少年団で男子と一緒にサッカーを行うのも良いことですが女子だけでのサッカーも楽しく、身近で出来る環境を作ってあげたく準備しています。

平成21年度からは本当の意味での新しい挑戦がスタートします。サッカーが大好きな少年、少女達に多くの夢を与えるべく努力したいと思います。最後に今まで志太少年委員会を支えて頂きました皆様、本当にありがとうございました。

中西部
ヤングサッカーニュース
2008 12
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第87回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会

藤枝東高校 2連覇 23回目の全国へ



藤枝東が２年連続で全国の舞台へ。全国高校サッカー選手権静岡県大会の決勝が11月16日にエコパスタジアムで行われ、藤枝東が常葉学園橘を２対０で破り２連覇を果たして、23回目の全国大会出場を決めた。

藤枝東は少ないチャンスを確実に得点に結びつけた。ルーズボールを奪われ押し込まれるも、粘り強い守りでしのぐと、22分に大井淳平の左ＣＫをファーサイドで相手がクリアしたボールは、上に上がり逆サイドへ。そこにいた新井成明が長身を活かしたヘディングシュートで先制点を奪った。さらに、35分にも大井淳の左ＣＫがオウンゴールを誘い２点目をゲットした。

後半は効果的なプレスで相手の攻撃の起点を抑え、追加点を狙うが、徐々に相手に押し込まれる時間が増す。終盤には決定的な場面も作られるが、堅守で２点のリードを守り切った。

※関連記事２面「技術委員会」

〈決勝〉
藤枝東 2−0 常葉学園橘

◎大石和孝監督
「ボールへの執着心、勝利への執着心がついてきた。走り負けないチームとして自信を持ってできた」

◎小林勇輝主将
「運動量のあるチームで昨年とは違った藤枝東を全国に見せられる。挑戦者の気持ちで一戦一戦を戦い全国優勝したい」

最高殊勲選手 ベストイレブン



ＭＦ 小林 勇輝 藤枝東３年

ベストイレブン



ＤＦ 岡崎 太一 藤枝東３年



ＭＦ 藤田 息吹 藤枝東３年

最優秀新人



ＦＷ 村松 一樹 藤枝東３年

優秀レフリー



ＧＫ 袴田 祐人 藤枝東１年

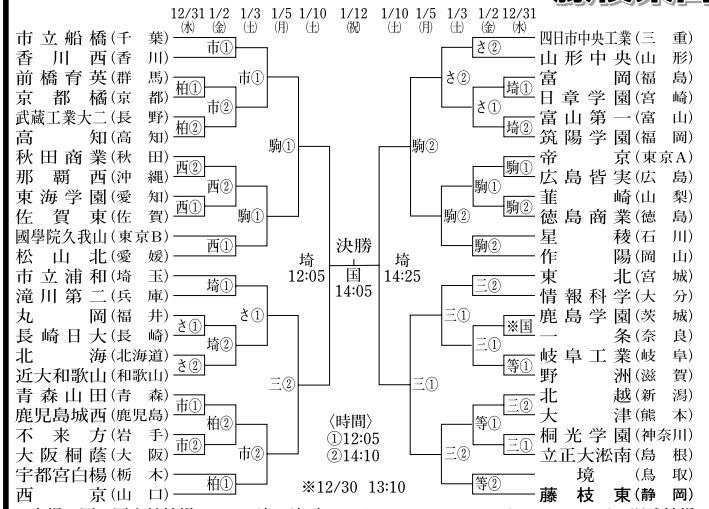
桑原 基英 静清工業 高校教諭

第87回 全国高校サッカー選手権大会

12月30日の開会式で幕を開ける全国高校サッカー選手権大会。藤枝東は１月２日の２回戦から登場し、昨年の全国高校総体２回戦で逆転勝ちしている鳥取県代表の境と対戦する。初戦を突破し、決勝（１月12日）の国立を、そして全国制覇を目指して頑張ってほしい。

全国高校サッカー選手権大会 組み合わせ

藤枝東高校 目指せ全国制覇!!



船橋（千葉）　市立船橋
西川（香川）　香川西
育英（群馬）　前橋育英
橘（京都）　京都橘
二（長野）　武蔵工業大二
知（高知）　高知
商業（秋田）　秋田商業
西（沖縄）　那覇西
園（愛知）　東海学園
東山（東京B）　佐賀東
北（愛媛）　松山北
和二（埼玉）　市立浦和
第一（兵庫）　滝川第一
岡（福井）　丸岡
大崎（長崎）　長崎日大
海（北海道）　北海道
和歌山（和歌山）　近大和歌山
青森（青森）　青森山田
西（鹿児島）　鹿児島城西
方（岩手）　不来方
蔭（大阪）　大阪桐蔭
楊（栃木）　宇都宮白楊
京（山口）　西京

中央工業（三重）　四日市中央工業
形（山形）　山形中央
岡（福島）　福島
学園（宮崎）　富岡
第一学園（富山）　富山第一
学（福岡）　筑陽学園
皆実（東京A）　帝京
崎（広島）　広島皆実
業（山梨）　山梨学院
稜（徳島）　徳島商業
陽（石川）　星稜
北（岡山）　作陽
学園（宮城）　東北学園
科学（大分）　情報科学
条（茨城）　鹿島学園
業（岐阜）　大垣北
洲（滋賀）　長浜
越（新潟）　新潟
津（熊本）　熊本
園（神奈川）　桐光学園
南（島根）　松江南
境（鳥取）　境
藤枝東（静岡）　藤枝東
三ツ沢球技場　三：ニッパツ三ツ沢球技場
総合公園競技場　柏：柏の葉公園総合競技場
海岸競技場　市：市原臨海競技場

＜会場＞
国：国立競技場
西：西が丘サッカー場
駒：駒沢陸上競技場
埼：埼玉スタジアム２００２
さ：さいたま市駒場スタジアム
等：等々力陸上競技場

第12回 東海女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

第12回 全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会 東海予選

藤枝順心高校 2連覇 全国切符獲得



東海女子ユース（U−18）サッカー選手権大会は11月23日、24日に岐阜県長良川競技場で行われ、藤枝順心高校が２連覇を果たし、２位までに与えられる全国切符を獲得した。

初戦で伊賀ＦＣフロイラインに前後半の１得点ずつで勝利し、準決勝に進んだ藤枝順心は名古屋ＦＣレディースと対戦。前半からボールを支配し両サイドへ展開して攻め上がるも、ゴールには至らず、無得点のまま後半へ折り返す。そして６分、ＧＫと１対１になった左山桃子が落ち着いて決めて先制。18分には若林亜里佐のシュートで２点目を、28分には相手のバックパスをカットした左山が、ＧＫもかわして３点目を奪って突き放した。

決勝の相手はＦＣ岐阜ベルタ。序盤から圧倒し、５分に高畑結のＣＫから阪口萌乃が押し込んだ先制点を皮きりに、前半で５得点。後半にも４点を加えて、大勝した。

◎多々良和之監督
「全日本女子選手権県大会初戦や全日本女子ユース県大会決勝で、押しながら１失点を守り切られての敗戦が続き「いやな流れを変えるきっかけになった。全国ではまずは初戦を考えて、１勝できるようにしたい。」

藤枝順心高校

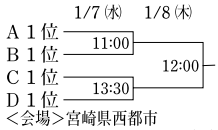
Ａグループ	常盤木学園高校（高校）
	Dream Spread ＦＣ宮崎（開催地）
	日ノ本学園高校（関西）
	ＦＣ岐阜ベルタ（東海２）
Ｂグループ	**藤枝順心高校（東海１）**
	ＨＯＹＯスカラブＦＣ（九州２）
	ＪＦＡアカデミー福島（東北１）
	鳴門ポラリスレディースＦＣ（四国）
Ｃグループ	神村学園高等部（九州１）
	アルビレックス新潟レディースU-18（北信越）
	浦和レッドダイヤモンズＪＹレディース（関東２）
	作陽高校（中国）
Ｄグループ	日テレ・メニーナ（関東１）
	北海道文教大学明清高校（北海道）
	鳳凰高校（高校）
	秋田Ｌ．Ｆ．Ｃ．ユース（東北２）

1次ラウンド・藤枝順心高校の試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/3(土)	11:00	ＨＯＹＯスカラブＦＣ	清水台Ｃ
1/4(日)	11:00	ＪＦＡアカデミー福島	清水台Ｂ
1/5(月)	13:30	鳴門ポラリスレディースＦＣ	清水台Ｂ

＜会場＞宮崎県西都市 清水台総合公園多目的広場（Ｂ・Ｃ）

決勝ラウンド組み合わせ



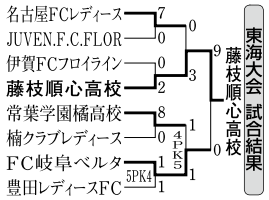
＜会場＞宮崎県西都市 清水台総合公園多目的広場（Ｂ）

JOCジュニアオリンピックカップ 第12回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

藤枝順心高校が出場する全日本女子ユース（Ｕ−18）サッカー選手権大会は、来年１月３日から宮崎県で開催される。全国９地域の代表13チームに、夏の全日本高校女子選手権の優勝・準優勝チームと、開催地の宮崎県代表を合わせた16チームが参加。５日までの３日間で４組に分かれて１次ラウンドのリーグ戦を行う。そして、各組の１位４チームが７日の準決勝に進み、８日に決勝が行われる。

東海１位の藤枝順心高校は、４年連続の出場で今大会初の全国優勝を目指す。

東海大会 試合結果



新たな挑戦

長谷部誠後援会
会長
滝本　義三郎

～長谷部誠選手（ヴォルフスブルク）ブンデスリーガ観戦記～

Ｊリーグ・浦和レッズからラグアイ、スイス等の各国代表選手たちの中でレギュラー争いは厳しく、チームの勝利に貢献しない選手は出場機会を与えないと言う、名将マガト監督の方針である。

本人の夢はＷ杯出場である。そのためにチームでレギュラーを取らないと日本代表になれないという信念がある。言葉や食事等の不慣れなドイツでの生活、この経験は世界へ羽ばたく日本サッカーにとっても大きな財産である。是非とも長谷部の活躍でＷ杯アジア最終予選を勝ち抜いて欲しいと願っている。

この機会を通して、中西部出身の子供たちの中に長谷部の後を追う選手が育ってくれることを期待したい。夢を持って努力すれば必ず実現する。

Ｊリーグ・浦和レッズが11月９日、ヴォルフスブルクの本拠地で対コトブス戦を観戦した。出場は後半開始からだった。相手の左サイドの攻撃を読みの的確さと豊富な運動量で抑え、スペースを見つけてミドルシュートを放つなど勝利に貢献した。長谷部のプレーの特長は試合の流れを読む状況判断の良さ、献身的な運動量と闘争心の旺盛さである。

長谷部誠後援会員32名が11月９日、ヴォルフスブルクの本拠地で対コトブス戦を観戦した。相手の左サイドの攻撃を読みの的確さと豊富な運動量で抑え、スペースを見つけてミドルシュートを放つなど勝利に貢献した。長谷部のプレーの特長は試合の流れを読む状況判断の良さ、献身的な運動量と闘争心の旺盛さである。

Ｊリーグ時代より心身共に逞しくなった。ドイツ、ブラジル、イタリア、ポルトガル、ボスニア・ヘルツェゴビナ、パ